



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。

各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

(1)ペースメーカー等の体内埋込型機器 (2)人工心肺等の生命維持用機器 (3)装着型の心電計等

▲注意

●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引っ張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が脱落するおそれがあります。

■取付け上のお願い

●納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)

●本製品の対応壁厚は『開口部の作り方』を参照してください。

●取付け前にレールを開梱状態で現場に置かないでください。ほこり等が入り、吊車、ソフトモーションの作動不良の原因になります。

●造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。

●造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。

●造作材・建具枠の下地材および、かい木には、合板などの乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。

●造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。

●現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。

●壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。

●本製品は上吊方式を採用しておりますので、梁(まぐさ)には十分な強度を持たせてください。強度が不足している場合、上枠および、レールの垂れ下がりの原因になります。本体重量は1枚あたり最大40kgとなります。

●梁または、まぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いいため直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けしてください。また、枠の垂下がり・ゆがみ防止のため、壁の仕上げ材に合板を使用してください。

●枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がレールや戸車に付着し、作動不良の原因になります。

●本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)

●本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。

■本体保管上のお願い

●本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。

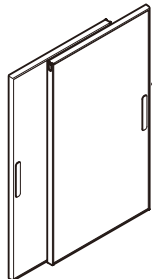
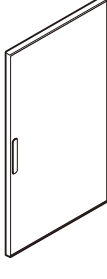
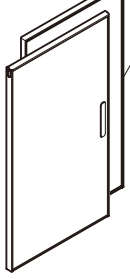
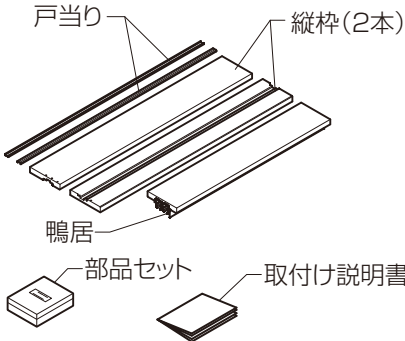
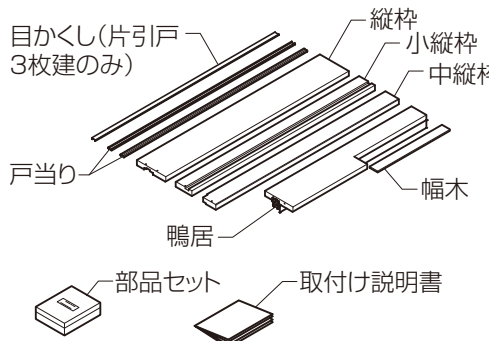
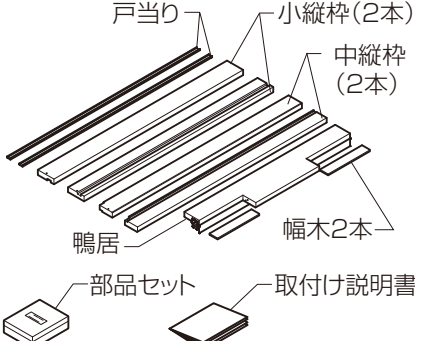

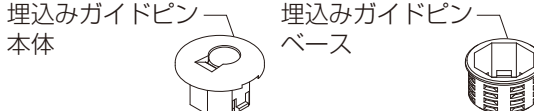

・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所

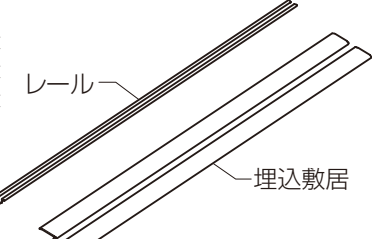
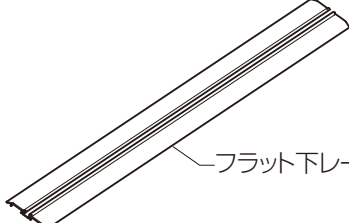
●本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。

※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

※枠はロックダウン、本体は完成品です。

引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建用本体	片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用本体	引分け戸用本体
 <p>1枚梱包×2/引違い戸2枚建用 1枚梱包×3/引違い戸3枚建用 1枚梱包×4/引違い戸4枚建用</p>	 <p>1枚梱包×1/片引戸用 1枚梱包×2/片引戸2枚建用 1枚梱包×3/片引戸3枚建用</p>	 <p>1枚梱包×2/引分け戸用</p>
引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建用枠	片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用枠	引分け戸用本体枠
 <p>戸当り 縦枠(2本) 鴨居 部品セット 取付け説明書</p>	 <p>目かくし(片引戸3枚建のみ) 縦枠 小縦枠 中縦枠 戸当り 鴨居 幅木 部品セット 取付け説明書</p>	 <p>戸当り 小縦枠(2本) 中縦枠(2本) 鴨居 幅木2本 部品セット 取付け説明書</p>
埋込みガイドピンセット	埋込みガイドピンセット	埋込みガイドピンセット
 <p>埋込みガイドピン本体 埋込みガイドピンベース</p>	 <p>埋込みガイドピン本体 埋込みガイドピンベース</p>	 <p>埋込みガイドピン本体 埋込みガイドピンベース</p>

埋込敷居	フラット下レール
<p>1本引き: 1本 2本引き: 2本 3本引き: 3本</p>  <p>部品セット レール 埋込敷居</p>	 <p>部品セット フラット下レール</p>

■枠セット明細

部材名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
鴨居	1	1	1	1	1	1	1
縦枠	1	1	1	2	2	2	—
中縦枠	1	1	1	—	—	—	2
小縦枠	1	1	1	—	—	—	2
幅木	1	1	1	—	—	—	2
戸当り	2	3	4	4	6	4	2
目かくし	—	—	1	—	—	—	—
部品セット	1	1	1	1	1	1	1

■埋込みガイドピンセット明細

部品名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
8個入セット	—	—	—	—	—	—	1
10個入セット	—	1	—	—	—	—	—
16個入セット	—	—	—	—	—	1	—
18個入セット	—	—	1	—	1	—	—

■部品セット明細

枠用部品セット	片引戸	片引戸2枚建 引分け戸	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建
枠組立て用皿小ねじM4×50	4本	4本	4本	4本	4本	4本
鴨居取付け用トラスタップピンねじφ4×50	8本	10本	19本	10本	16本	12本
縦枠取付け用DNねじφ3.8×50	6本	6本	6本	6本	6本	6本
固定ガイドピンセット	1個	—	—	2個	—	—
吊車	1個	2個	3個	2個	3個	4個
吊車(ソフトモーション付)	1個	2個	3個	2個	3個	4個
ソフトモーション受け金具	1個	2個	3個	2個	3個	4個
受け金具取付け用低頭小ねじM3×12	2本	4本	6本	4本	6本	8本

フラット下レール用部品セット	片引戸※	片引戸2枚建※	片引戸3枚建※	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸※
フラット下レール取付け用頭塗装皿タップピンねじφ4×18	14本	18本	24本	14本	18本	24本	24本
フラット下レール1本引き用端部ピース	2個	1個	1個	—	—	—	2個
フラット下レール2本引き用端部ピース	—	1個	—	2個	—	2個	—
フラット下レール3本引き用端部ピース	—	—	1個	—	2個	—	—

※片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用と引分け戸用に同梱されている中縦枠下部スペーサーは、本製品には使用しません。

埋込敷居用部品セット	片引戸※	片引戸2枚建※	片引戸3枚建※	引違い戸2枚建 引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸※
敷居取付け用なべタップピンねじφ4×30	5本	6本	8本	6本	9本	9本
Vレールスペーサー	—	1個	2個	—	—	—

※片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用と引分け戸用に同梱されている中縦枠下部スペーサーは、本製品には使用しません。

■引手セット(別売り)

名称	入数
引手	2個

■プッシュ錠セット(別売り)

名称	入数
プッシュ錠本体	1個
錠座カバー	1個
カギ(シリンダー錠のみ)	3本

■召合せパッキンセット(別売り)

名称	入数
召合せパッキン	2本

■開口部の作り方

■対応壁厚

(単位:mm)

ノンケーシングタイプ	種類	対応壁厚
NC95	片引戸・引違い戸2枚建	64~75
NC115	片引戸・引違い戸2枚建	76~100
NC156	片引戸・片引戸2枚建・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸	116~130
NC171	片引戸・片引戸2枚建・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸	131~145
NC180	片引戸・片引戸2枚建・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸	146~160
NC210	片引戸3枚建	170~190

■壁厚の違いによるケーシングの組合せ

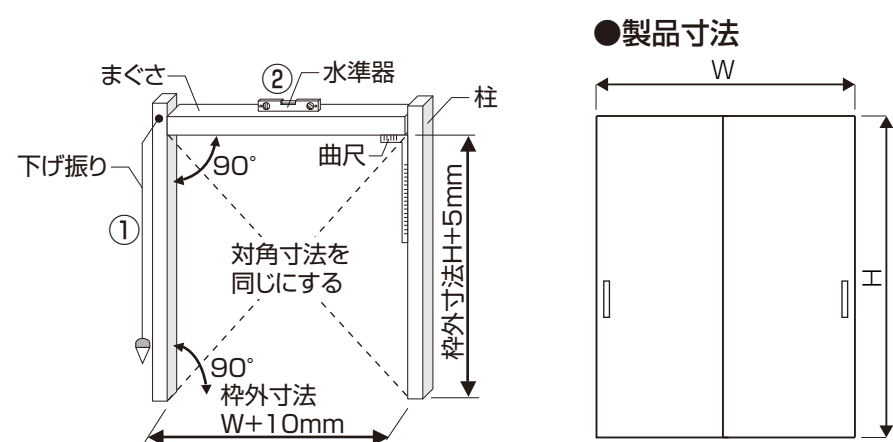
(単位:mm)

	ケーシング(足寸法)	対応壁厚	ケーシング(足寸法)	対応壁厚		
薄壁用	8	111~121	片引戸 2枚建	8	157~167	
	14	122~133		14	168~179	
	19	134~141		19	180~187	
	25	142~152		25	188~198	
厚壁用	8	142~148	片引戸 3枚建	8	191~201	
	14	149~160		14	202~213	
	19	161~170		19	214~221	
	25	171~182		25	222~232	
引違い戸 3枚建	8	150~160	引違い戸 3枚建	8	150~160	
	14	161~172		14	161~172	
	19	173~180		19	173~180	
	25	181~191	25	181~191		

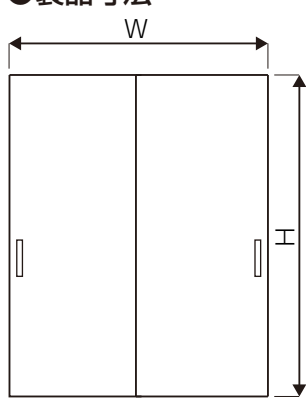
■開口部寸法の出し方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

●本製品は上吊方式を採用しておりますので、梁(まぐさ)には十分な強度を持たせてください。強度が不足している場合、上枠および、レールの垂れ下がりの原因になります。本体重量は1枚あたり最大40kgとなります。

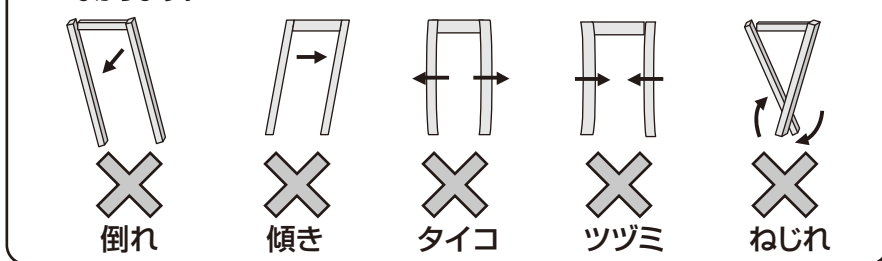


●製品寸法



- ①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ②水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。

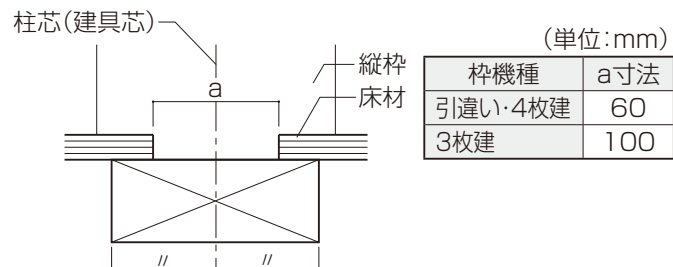


■床の張り方

〔埋込敷居の場合〕

●引違い・3・4枚建

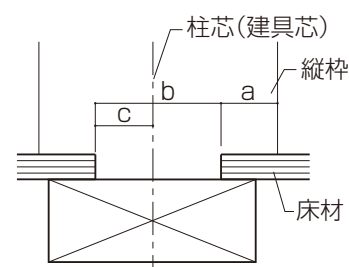
※床材は、柱芯(建具芯)を中心にa寸法あけて張ってください。



枠機種	a寸法
引違い・4枚建	60
3枚建	100

●片引戸・引分け戸

※床材は、柱芯(建具芯)より引込み側にb寸法あけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて張ってください。



枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
片引戸 NC95	17.5	30	0
片引戸 NC115	27.5	30	0
片引戸・引分け戸 NC156	48	30	0
片引戸・引分け戸 NC171	55.5	30	0
片引戸・引分け戸 NC180	70	30	10

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
片引戸2枚建 NC156	28	60	10
片引戸2枚建 NC171	43.5	60	18
片引戸2枚建 NC180	32	60	2
片引戸3枚建 NC210	22	100	17
片引戸・引分け戸C付薄壁	27.5	30	0
片引戸・引分け戸C付厚壁	51	30	10
片引戸2枚建C付	33.5	60	13
片引戸3枚建C付	27.5	100	30

※固定ガイドピン・埋込みガイドピン・フラット下レールを使用する場合、床乗せの仕様になるため、床の開口をつくる必要はありません。

■取付け順序

- 1 枠の組立て
- 2 枠の取付け
- 3 ガイドピンの取付け
- 4 戸当りの取付け
- 5 ケーシング材の取付け
- 6 幅木の取付け
- 7 本体部品の取付け
- 8 本体の吊込み
- 9 引手の取付け
- 10 錠の取付け
- 11 ソフトモーションの動作確認

本体の調整(12/16ページ)

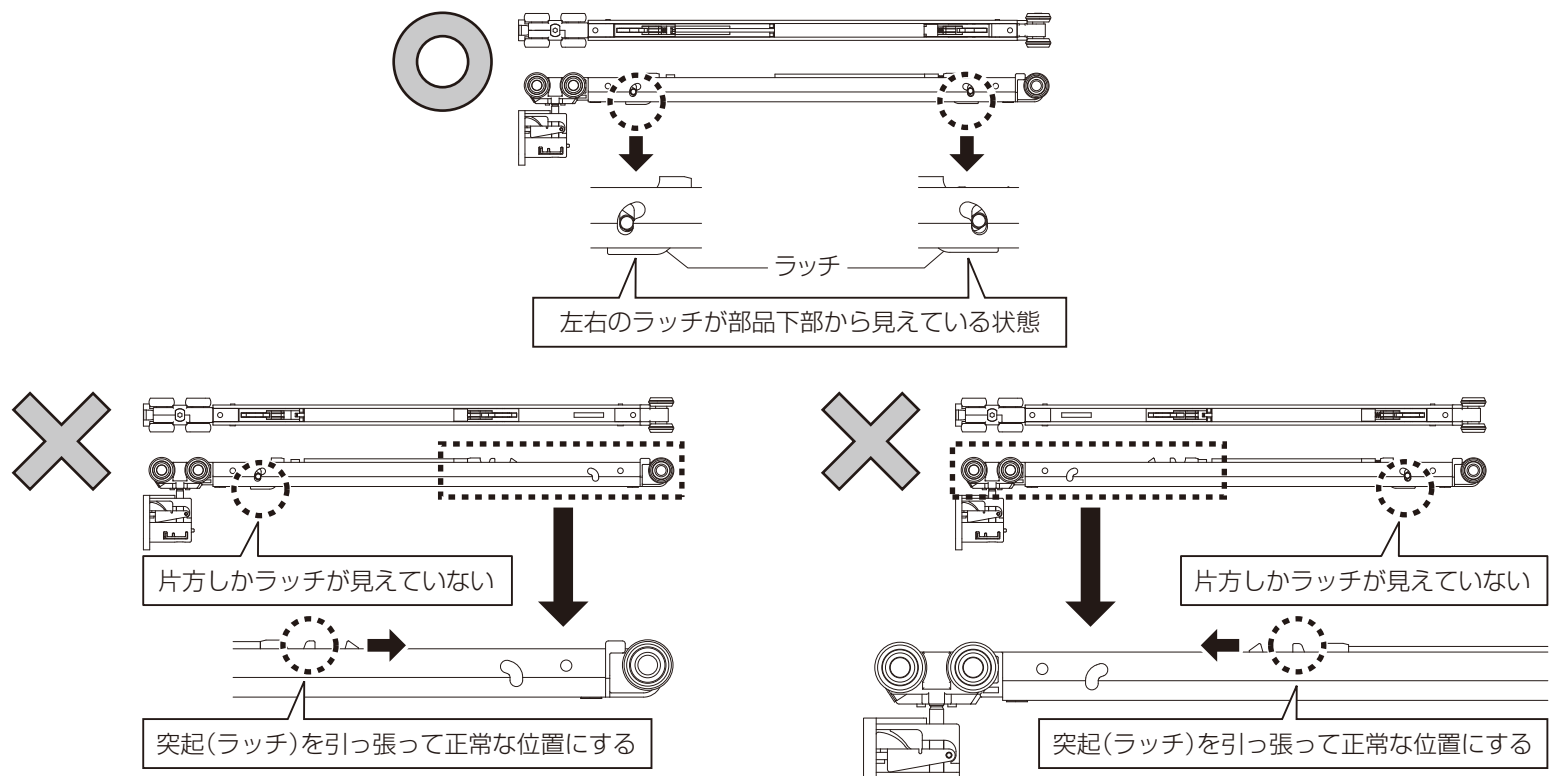
- 1 上下調整
- 2 左右調整
- 3 ガイドピン位置前後調整
- 4 本体の取外し方法
- 5 中縦枠の調整
- 6 異常時の対処方法

調整が必要な場合



■ 枠の組立て

① 吊車(ソフトモーション付)のレール挿入前の確認

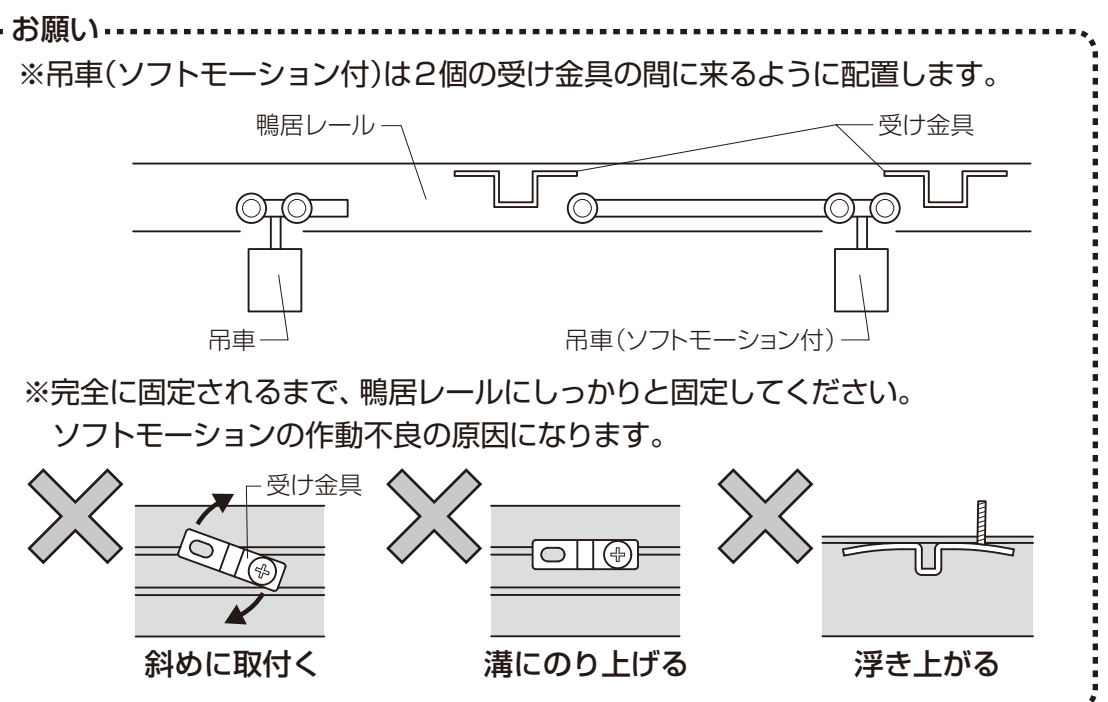
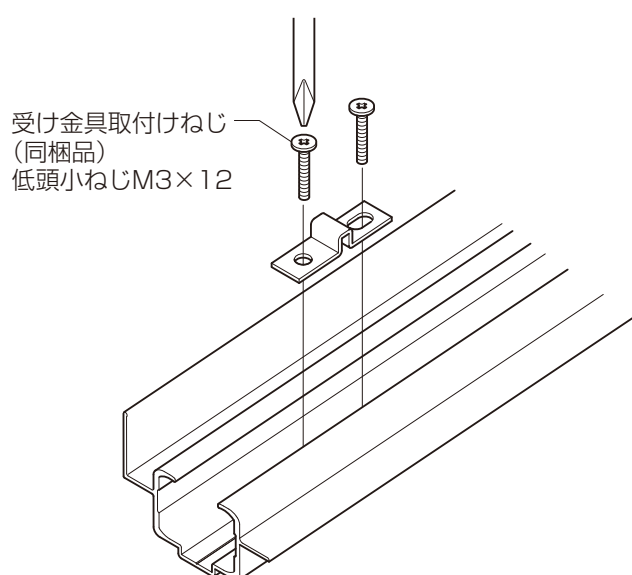


■ レールの取付け方向と受け金具の取付け位置

	<p>①吊車をレールに挿入します。 ※下図を参照し、挿入向きに注意してください。向きを間違えると正常に開閉操作ができません。</p> <p>②ソフトモーションの受け金具を同梱の受け金具取付けねじで取付けます。 ※受け金具の半数およびストッパーはすでに取付けられている状態となります。</p>	
片引戸標準タイプ 	引違い戸2枚建 	引分け戸
片引戸2枚建 	引違い戸3枚建 	<p>お願い</p> <p>※吊車(ソフトモーション付)に潤滑油などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。</p> <p>吊車(ソフトモーション付)</p> <p>潤滑油</p>
片引戸3枚建 	引違い戸4枚建 	

② 受け金具の取付け

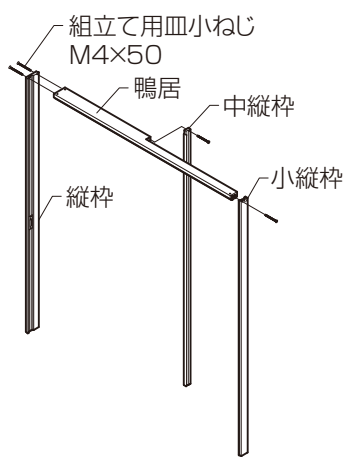
- ① 鴨居レールの下穴に合わせて受け金具を設置し受け金具取付けねじ(同梱品)で固定します。



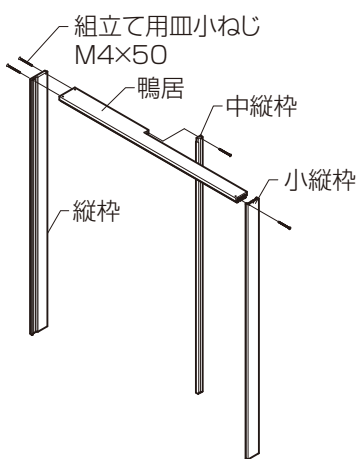
3 枠の固定

●下図のように、各部材を組合せ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

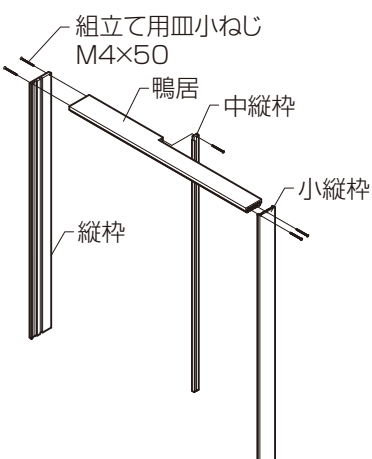
■片引戸



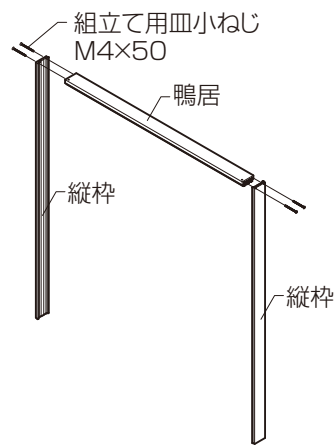
■片引戸2枚建



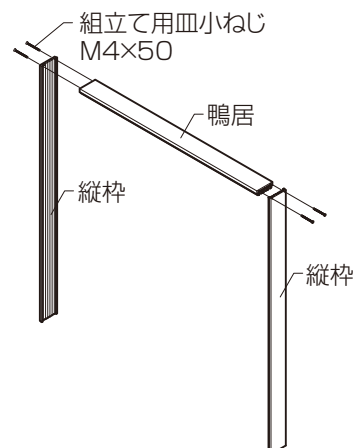
■片引戸3枚建



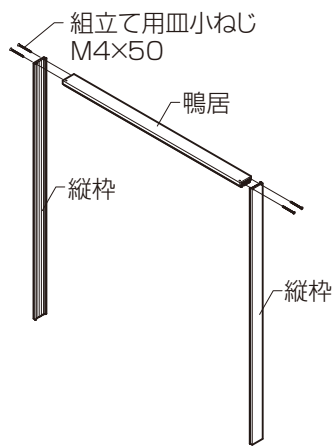
■引違い戸2枚建



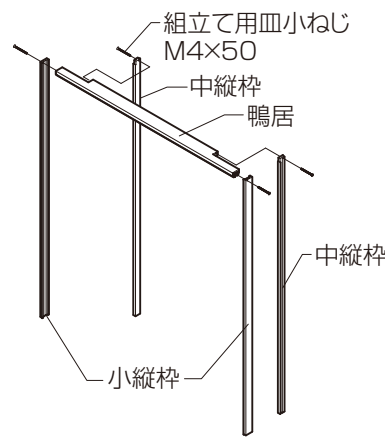
■引違い戸3枚建



■引違い戸4枚建



■引分け戸

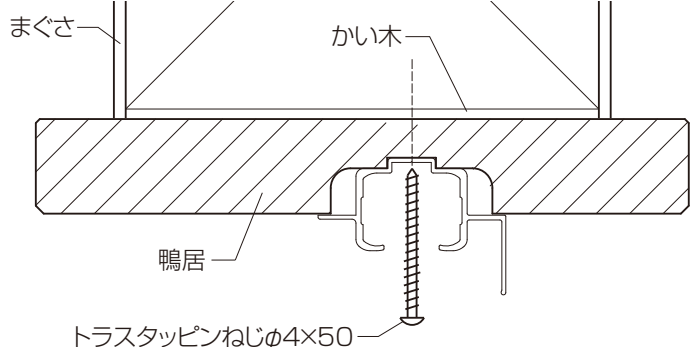


お願い
 ※枠組立て前に鴨居のレールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。
 ※必ず同梱のねじを使用して取付けてください。

2 枠の取付け

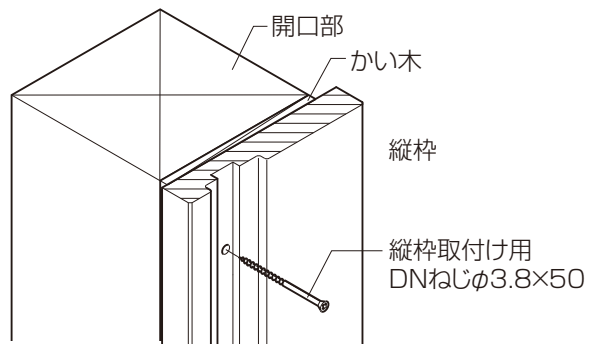
■鴨居

※鴨居はトラスタッピンねじφ4×50で固定してください。



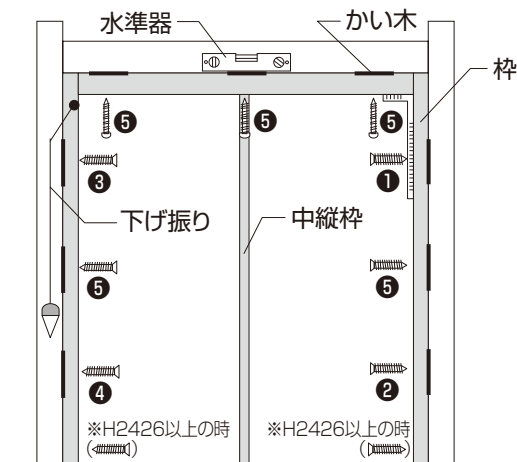
■縦枠・小縦枠

※縦枠取付け用DNねじφ3.8×50で固定してください。

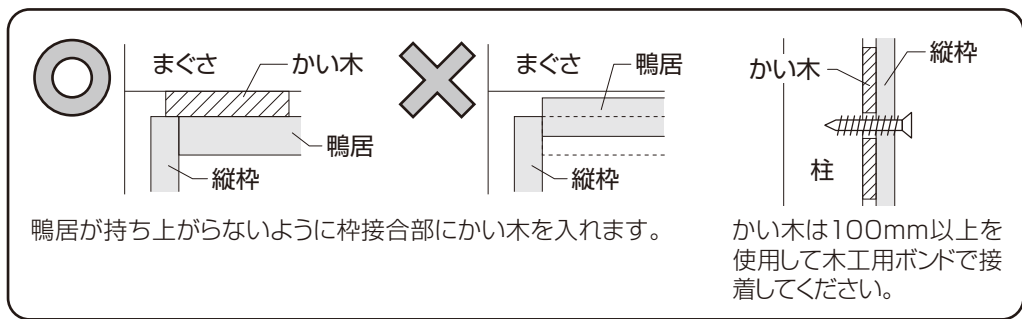


- ①枠を開口部にはめ込んで、上枠の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
 - ②下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
 - ③水準器で上枠の水平を確認してから縦枠の③を仮固定してください。
 - ④下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠の④を仮固定してください。
 - ⑤枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。
- ※枠に水系を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。
 ※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、現場手配の木ねじで躯体に固定してください。

お願い
 ※鴨居の躯体固定ねじを締込みすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体を吊込んだときに動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。



※中縦枠が曲がらないように注意してください。
 ※H寸法が2425mmよりも高い場合、縦枠固定ねじを各1本現場手配で追加してください。

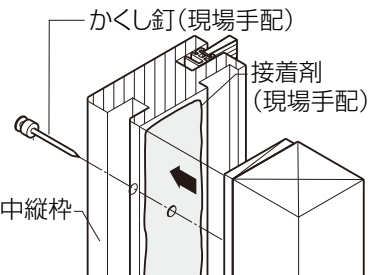


お願い
 ※枠の倒れ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。

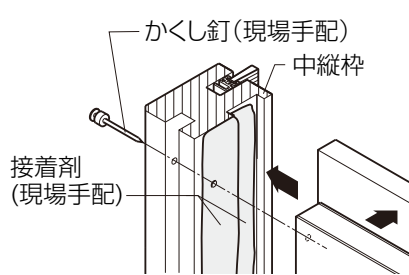
■中縦枠

※裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。

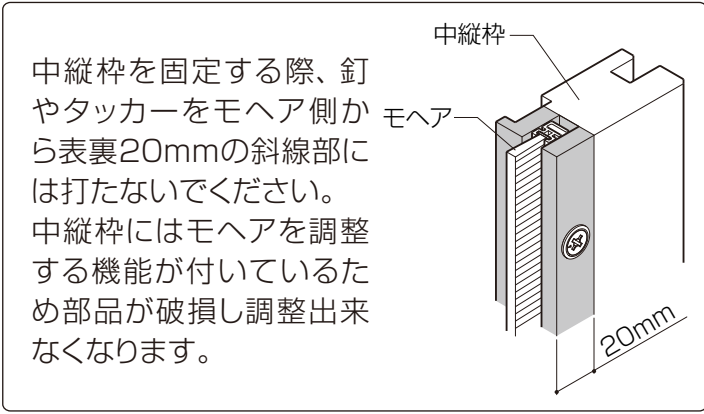
●中縦枠



●NC95、NC115中縦枠



お願い
 ※床見切りを使用しない場合、中縦枠の位置出しには、同梱の幅木(正寸カット済み)を使用してください。

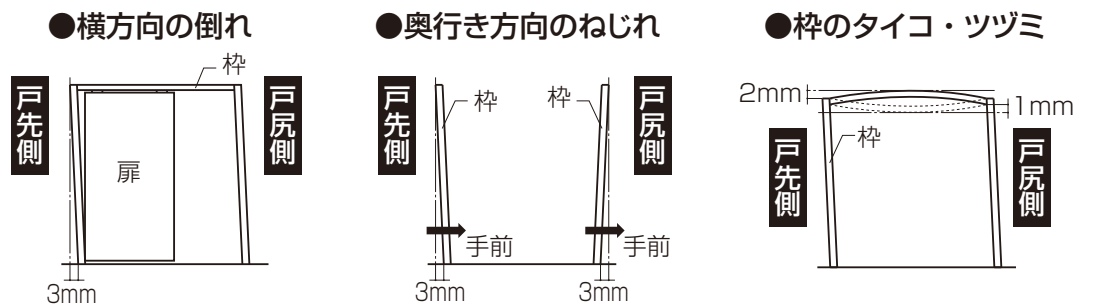


お願い

- ※本製品は上吊方式のため、梁またはまぐさで重量を受けますので、本体重量に耐える断面の梁またはまぐさをご使用ください。
- ※本体重量は1枚あたり最大40kgです。
- ※梁またはまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いため直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けてください。
- ※鴨居の躯体固定ねじを締込みすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合はねじをゆるめてください。

■取付け精度の許容範囲

※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれが3mmをこえる場合、枠のタイコ・ツツミが両端・中央で+1、-2mmを超えるは取付け修正を行ってください。
(引戸が吊込めない・ソフトモーション機構の作動不具合・ガイドピンの外れの原因となります。)

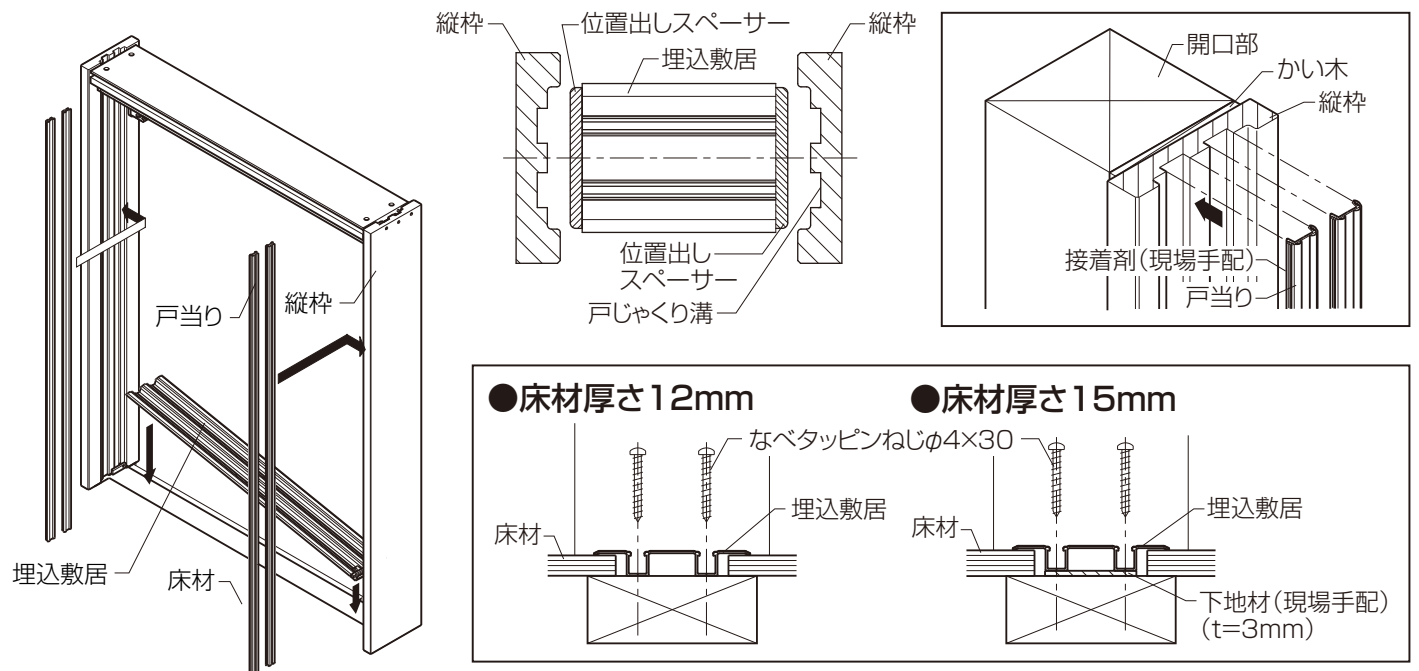


〔埋込敷居の取付け〕

●引違い枠

(3・4枚建枠は引違い枠に準じる)

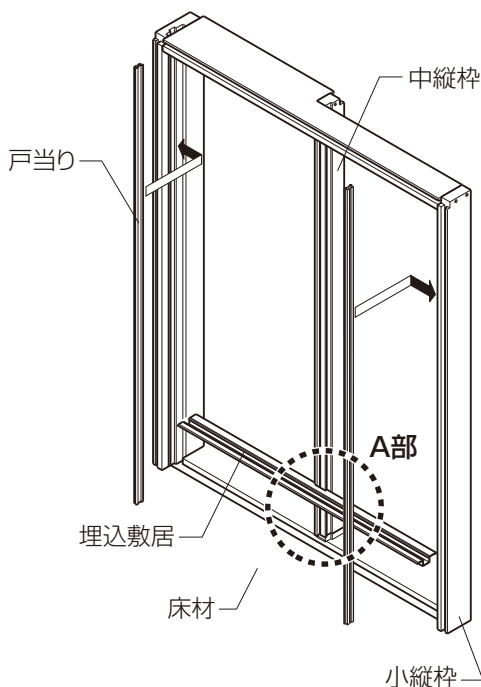
- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
 - ②同梱のねじで固定します。
 - ③戸当りに接着剤(現場手配)で溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。
※戸当りが長い場合は無理に入れずに必要量を切詰めてください。



●片引き枠

(引分け・片引き2・3枚建は片引き枠に準じる)

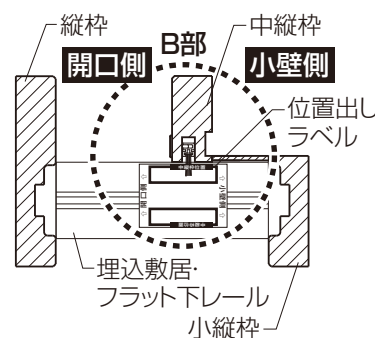
- ①下記の通りに中縦枠の位置出しを行ってください。
- ※以下は引違い枠を参照してください。



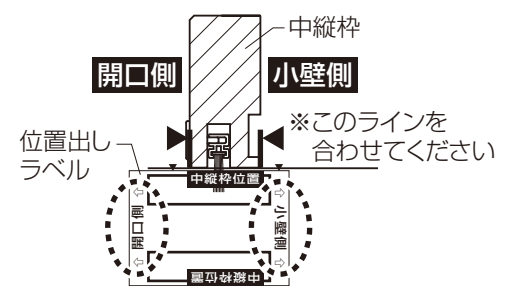
■A部詳細

●片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分戸の場合、中縦枠の位置出しは、フラット下レールおよび埋込敷居の位置出しラベルに合わせて取付けてください。

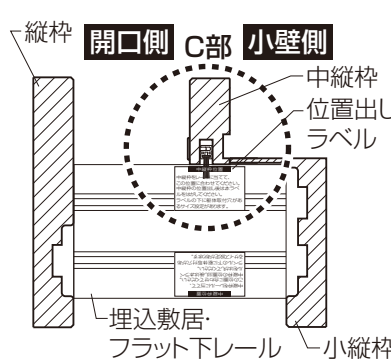
- ①片引戸(フラット下レール、埋込敷居)
※片引戸のフラット下レールおよび埋込敷居は左右勝手兼用ですが、中縦枠位置出しのため向きがあります。必ずラベルの「小壁側」「開口側」を確認してください。



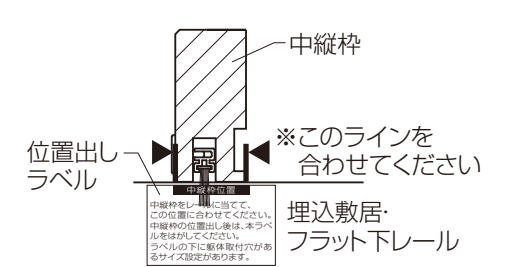
■B部詳細図



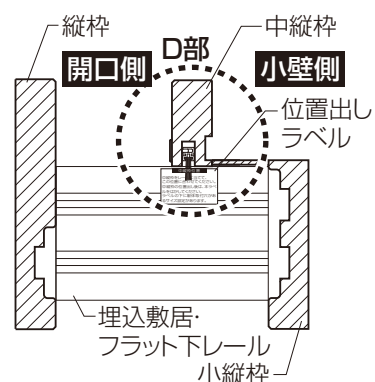
- ②片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸(フラット下レール)
※片引戸2枚建・3枚建のフラット下レールは左右勝手兼用ですが、中縦枠位置出しのため向きがあります。ラベルが貼ってある方が小壁側になるように取付けてください。



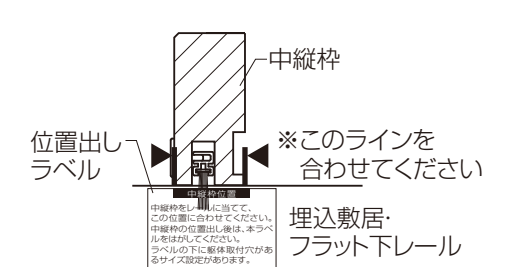
■C部詳細図



- ③片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸(埋込敷居)



■D部詳細図

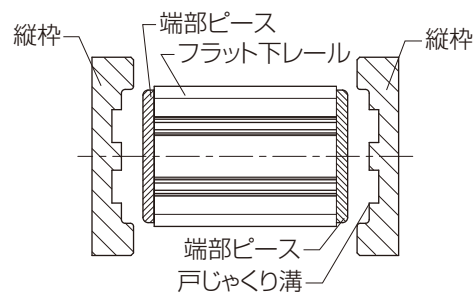


【フラット下レールの取付け】

(単位:mm)

①端部ピースの取付け

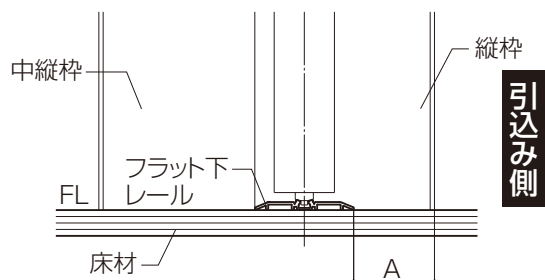
※フラット下レールと同梱されている端部ピースを縦枠戸じゃくり溝側にはめ込みます。



②縦枠に合わせて仮置きしてください。

●片引き枠

※引込み側にA寸法あけて仮置きしてください。



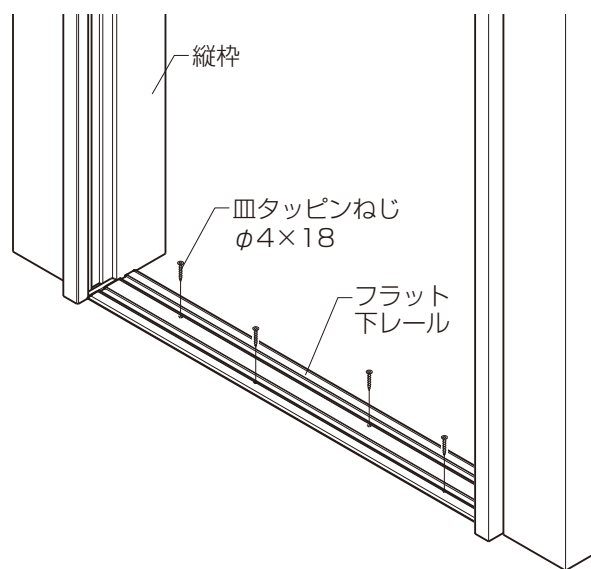
※中縦枠部は〔埋込敷居の取付け〕を参照してください。

●引違い枠

※はめ込んだ端部ピースを縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。

枠種類	A
片引戸 NC95	3
片引戸 NC115	12
片引戸・引分け戸 NC156	32.5
片引戸・引分け戸 NC171	47.5
片引戸・引分け戸 NC180	56.5
片引戸 2枚建NC156	13
片引戸 2枚建NC171	28
片引戸 2枚建NC180	16.5
片引戸 2枚建NC210	6.5
片引戸・引分け戸C付薄壁	12
片引戸・引分け戸C付厚壁	39
片引戸 2枚建C付	18
片引戸 3枚建C付	12

③フラット下レールをねじ(皿タッピンねじφ4×18)で固定します。



お願い

※フラット下レールを固定する床(下地)は段差やすき間がないように仕上げからレールを固定してください。

お願い

※フラット下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。

■埋込敷居の場合

●敷居の溝に下レールをプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

■片引戸3枚建のみ

●縦枠中央の溝に目かくしを戸当りと同様に接着剤(現場手配)で取付けてください。

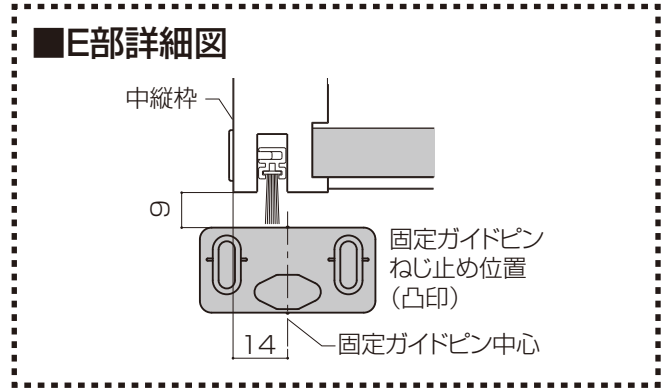
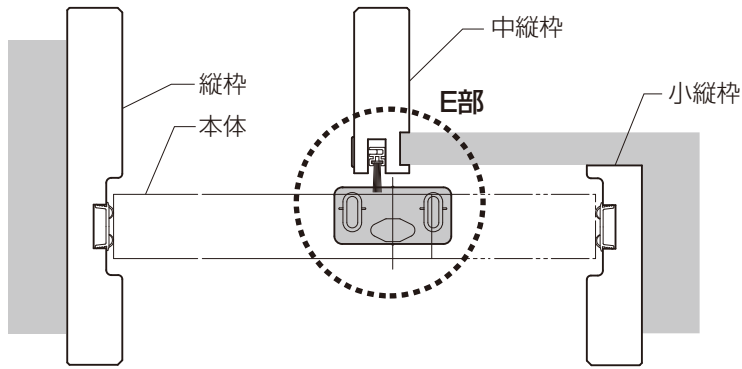
3 ガイドピンの取付け ※埋込敷居・フラット下レール納まりの場合は必要ありません。

〔固定ガイドピンの場合〕

- 固定ガイドピンを枠と同梱のねじ(皿タッピンねじφ3.5×20)で床材に固定します。
- ※機種により取付け位置が異なります。必ず下記の説明をお読みください。
- ※本体の開閉操作に影響が出ますので、E・F部詳細図にしたがって取付けてください。

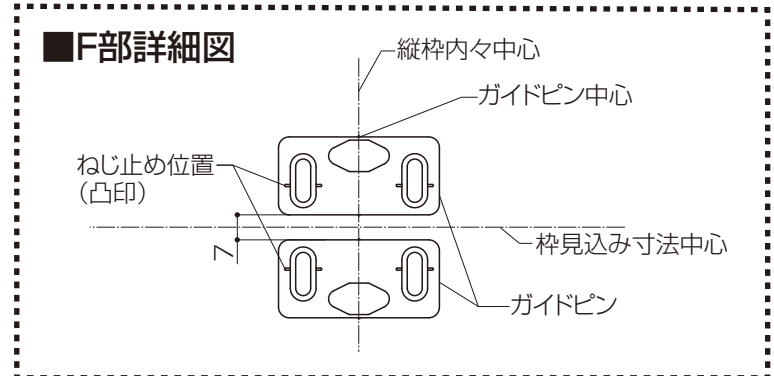
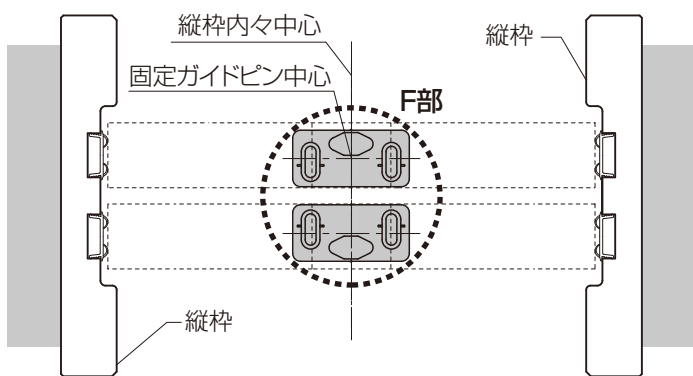
■片引戸の場合

- 図の位置および向きに固定ガイドピンを置き、固定ガイドピンの長穴(2カ所)の凸印(ライン)の位置にねじ止めしてください。
- ※図は、左勝手を示します。右勝手の場合は、図と左右対称の位置となります。



■引違い戸の場合

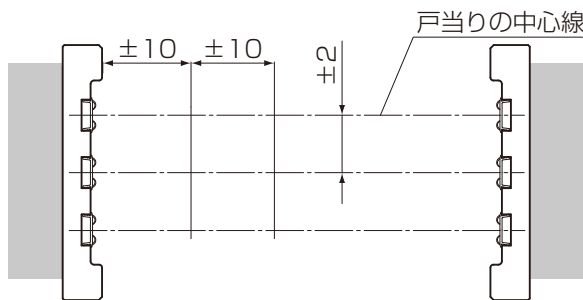
- 図の位置および向きに固定ガイドピンを置き、固定ガイドピンの長穴(2カ所)の凸印(ライン)の位置にねじ止めしてください。



〔埋込みガイドピンの場合〕

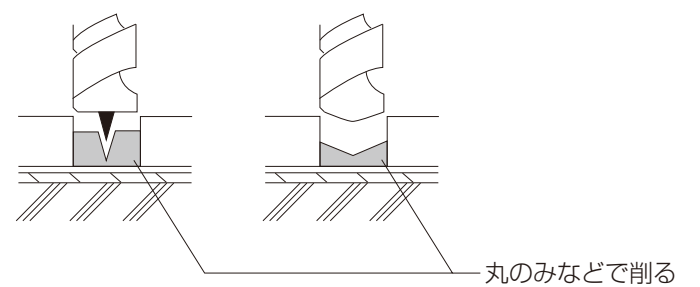
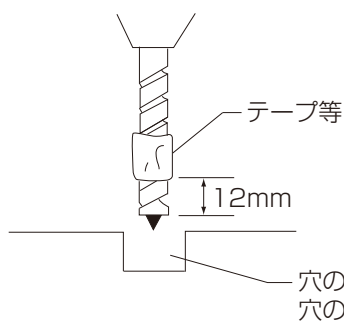
- ①納まり図の埋込みガイドピン配置図(13/16～16/16ページ)を参照し、埋込みガイドピンの位置出しをしてください。

※位置のズレは開閉方向で±10mm以下、本体の面方向で±2mm以下で位置出しをしてください。ズレが大きい場合、開閉時に本体がピンからはずれる場合があります。



- ②埋込みガイドピンの位置にドリル(φ22)で穴を開けてください。

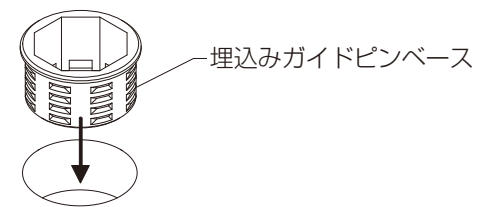
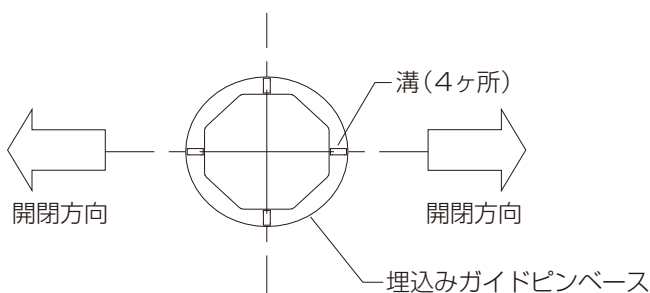
※ドリルの穴の深さの位置にテープを巻き目印とすると確実に12mm深さの穴をあけることができます。
 ※穴の深さが不足していると埋込みガイドピンベースが最後まで入らず走行性が悪くなります。
 ※穴をあけた後、バリ、切粉を取り除いてください。
 ※穴をあける際は床に対してドリルを垂直にしてください。
 ※本体開閉時の走行性が悪くなるおそれがあります。



※フローリングが直張りの場合は穴を途中まであけ、丸のみなどで削って仕上げてください。

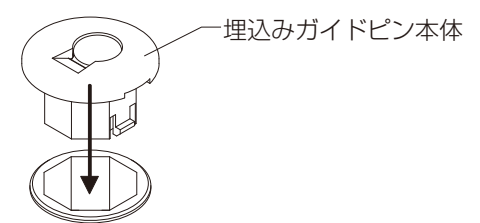
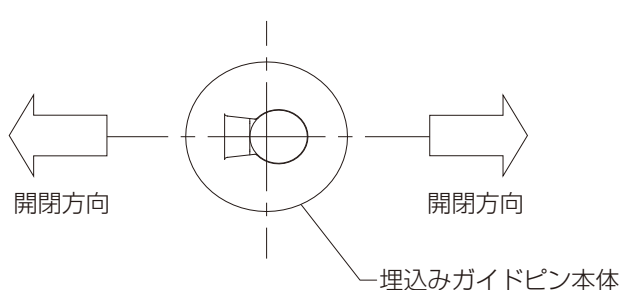
- ③埋込みガイドピンベースを部品のツバ部の溝が本体の走行方向に並行、または垂直になるように穴にはめ込んでください。

※直接部品をたたかず、あて木等を使用してください。床にキズがついたり部品が破損するおそれがあります。
 ※確実に埋込みガイドピンベースがはまっていることを確認してください。



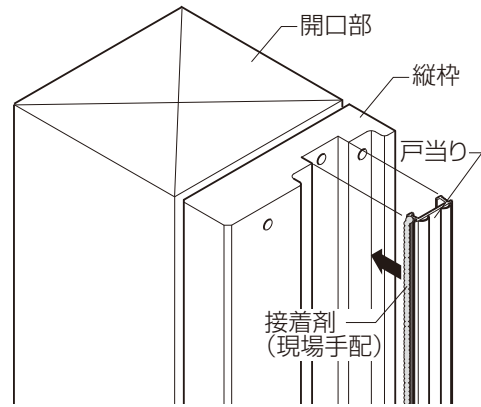
- ④埋込みガイドピンベースに埋込みガイドピン本体を図のようにカチッと音がするまで押し込んでください。

※本体の吊込み後にピンの位置調整をします。本体吊込み後に、埋込みガイドピン本体を取付ける場合は紛失に注意してください。



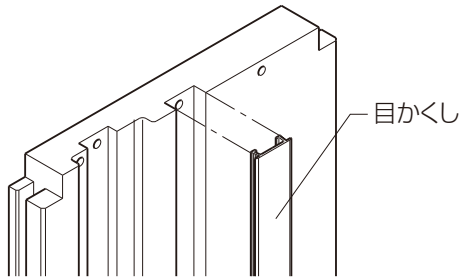
4 戸当りの取付け

- 戸当りに接着剤（現場手配）を付けて溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、下枠取付け後に取付けてください。
- ※戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。
- ※戸当りの接着は必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。



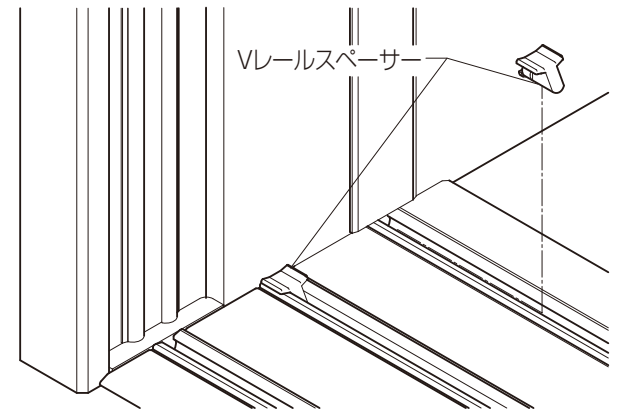
■目かくしの取付け

- ※片引き3枚建のみ
- 縦枠中央の溝に目かくしを戸当りと同様に接着剤（現場手配）で取付けてください。



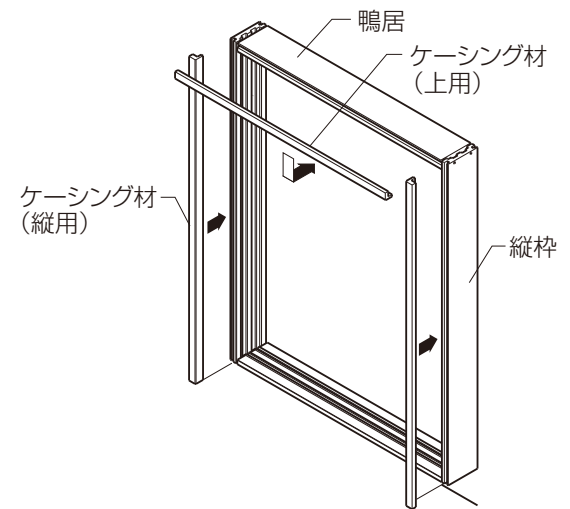
■Vレールスペーサーの取付け

- ※埋込敷居・片引き2・3枚建・縦枠側のみ
- 戸じゃくりの無い部分のレールにVレールスペーサーを取付け縦枠側に滑らせて固定します。



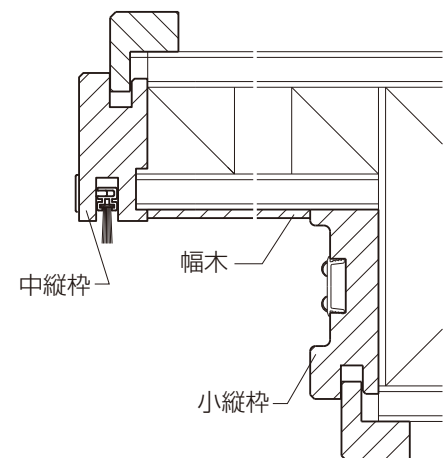
5 ケーシング材の取付け(ケーシングタイプを使用する場合)

- ※壁材・床材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、ケーシング材を固定します。



6 幅木の取付け

- ※片引き枠には、小壁のボードと埋込敷居またはフラット下レールを見切るために幅木が同梱されています。必ずご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤（現地手配）を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200～300mmです。

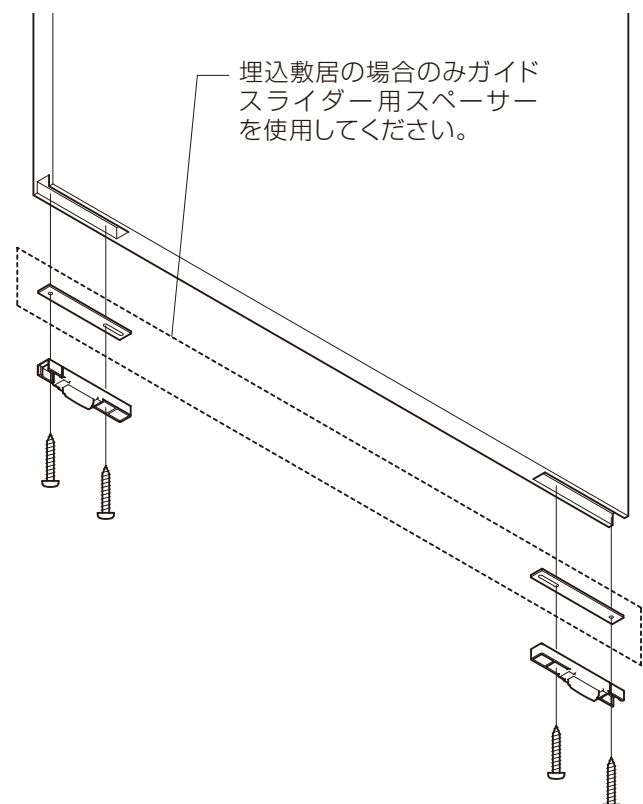


7 本体部品の取付け

〔埋込み敷居納まりの場合〕

- 本体のガイドスライダを一度外し、スペーサーを挟んで再度取付けてください。

- お願い
- ※埋込敷居の場合、必ずガイドスライダー用スペーサーを使用してください。スペーサーを使用しないと、本体の開閉操作に支障がでる原因になります
 - ※フラット下レールの場合、ガイドローラー用スペーサーを使用しないでください。本体の開閉操作に支障がでる原因になります。

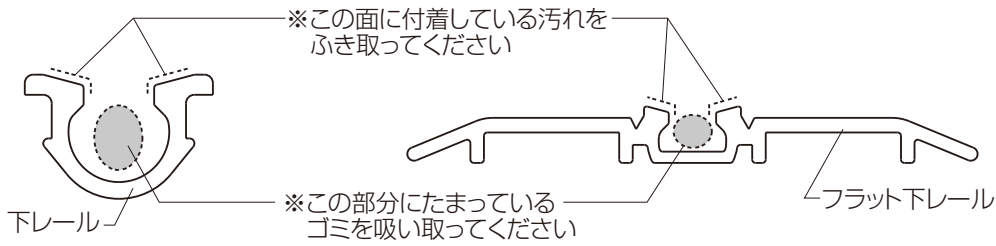


8 本体の吊込み

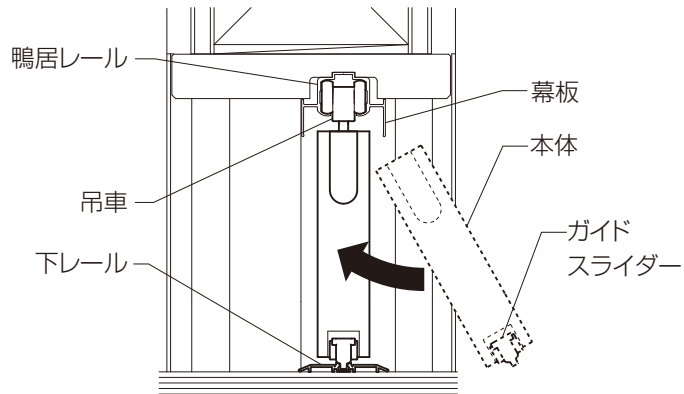
※本体の吊込み前に以下の作業を行ってください。

〔埋込敷居・フラット下レール納まりの場合〕

①レールの清掃を行ってください。

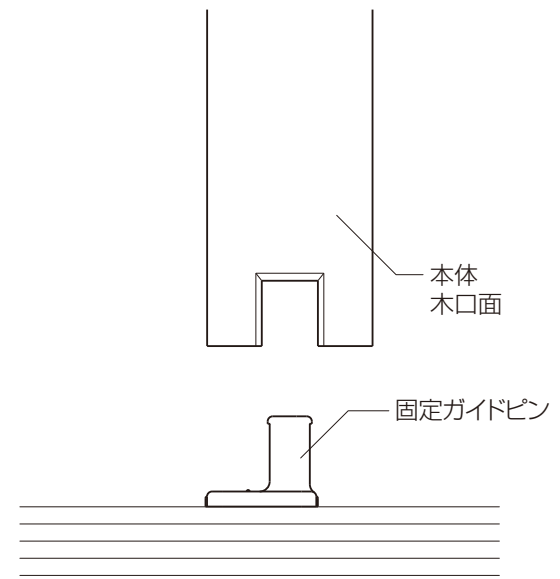


本体を持ち上げて、本体上部を鴨居レールの幕板の内側に入れ、その後、本体下部のガイドスライダを下レールにはめ込みます。



〔固定ガイドピンの場合〕

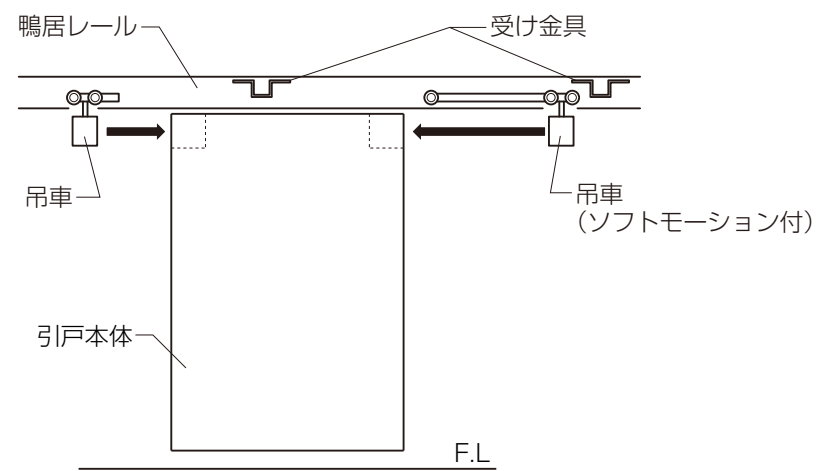
①本体を持ち上げて、本体下部の溝にガイドピンを入れます。



②片側ずつ吊車を本体に**水平に押込む**と、ワンタッチで取付けられます。

※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込みます。

③本体と床のチリ寸法が8(-1, +2)mmの範囲にあることを確認してください。調整が必要な場合は『■本体の調整1 上下調整』の手順にそって調整をしてください。



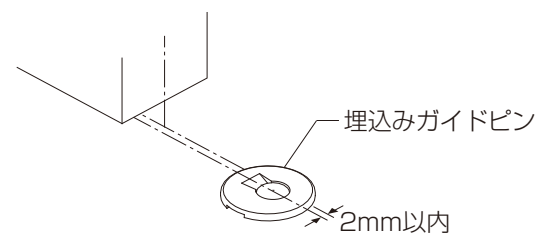
▲ 注意

●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押込んでください。押込み後、引っ張って抜けないことを確認してください。押込みが足りないと本体が脱落するおそれがあります。

〔埋込みガイドピンの場合〕

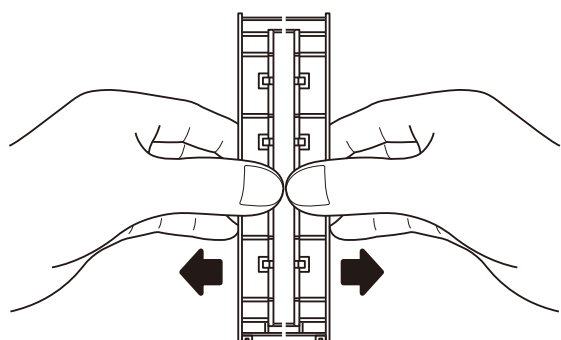
※本体の吊込み後に以下の確認を行ってください。

④全てのガイドピンの中心が本体の中心から2mm以内にある事を確認してください。調整が必要な場合は、『■本体の調整3 ガイドピン位置前後調整』の手順にそって調整をしてください。

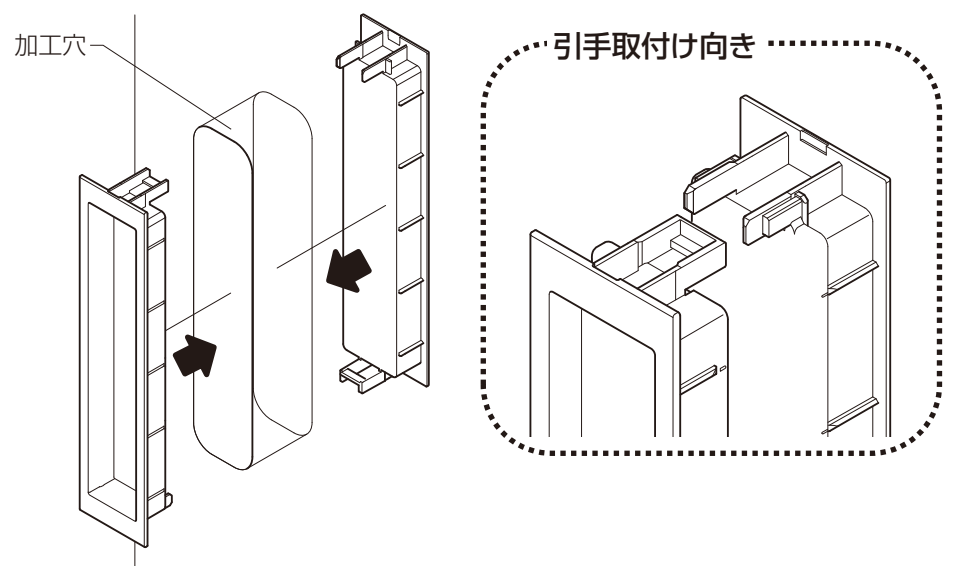


9 引手の取付け

①引手は仮組み状態になっています。平行に引き抜いてください。

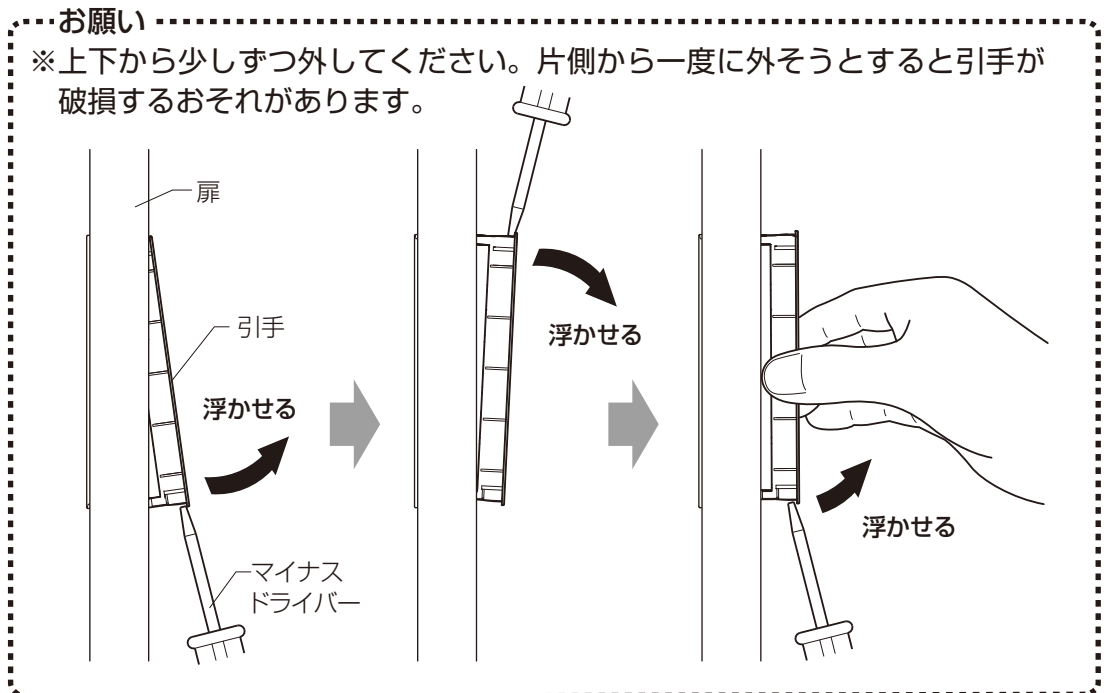
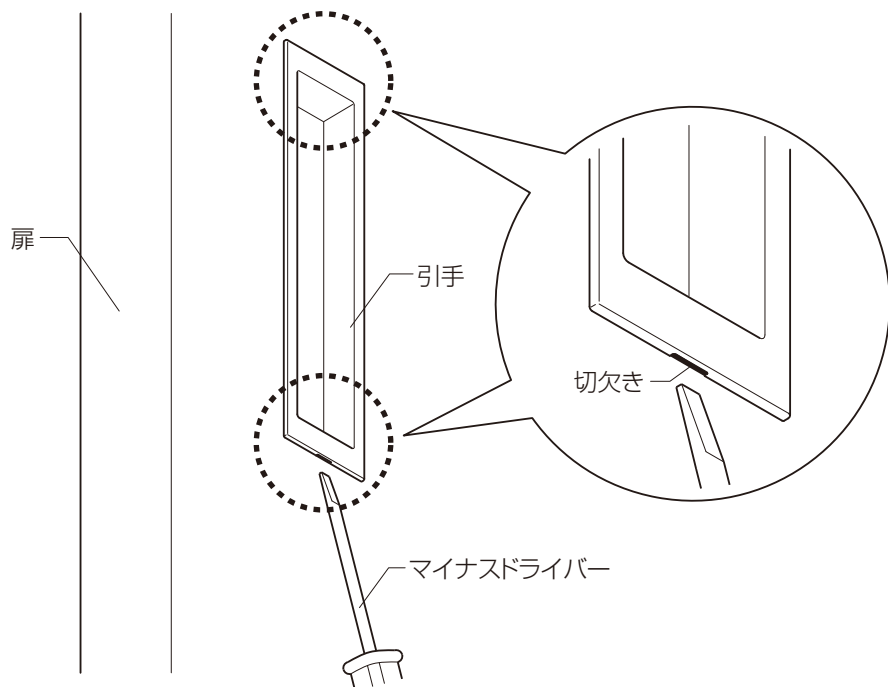


②引手本体の加工穴に引手を取付けます。表裏の引手が上下互い違いになる向きにし、加工穴に押し込み固定してください。



●引手の取外し

引手上下にある切欠きに扉をキズ付けないようにマイナスドライバーを差込み、少しずつ引手を浮かせて外します。

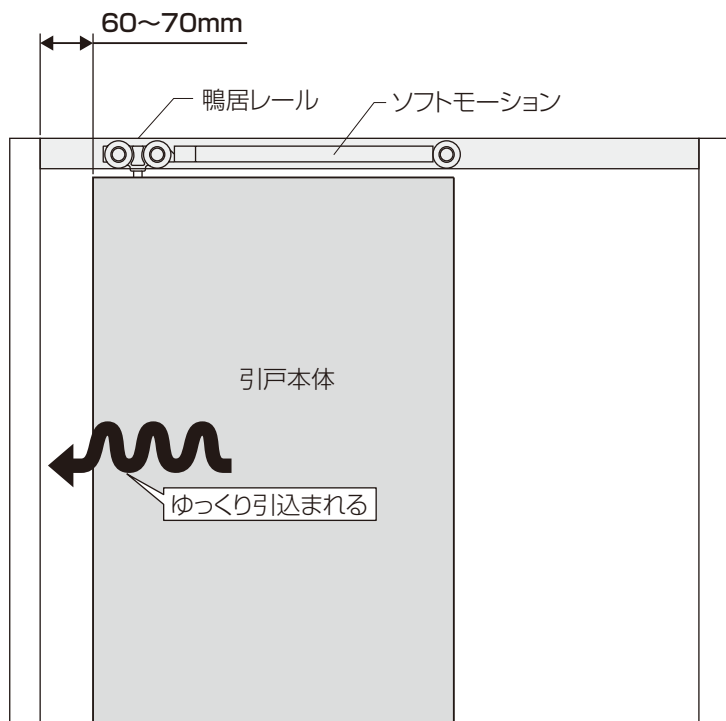


⑩錠の取付け

※錠の取付けについては、錠セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

⑪ソフトモーションの動作確認

●本体を停止位置より60～70mm動かして、ゆっくりと引き込まれるか確認してください。



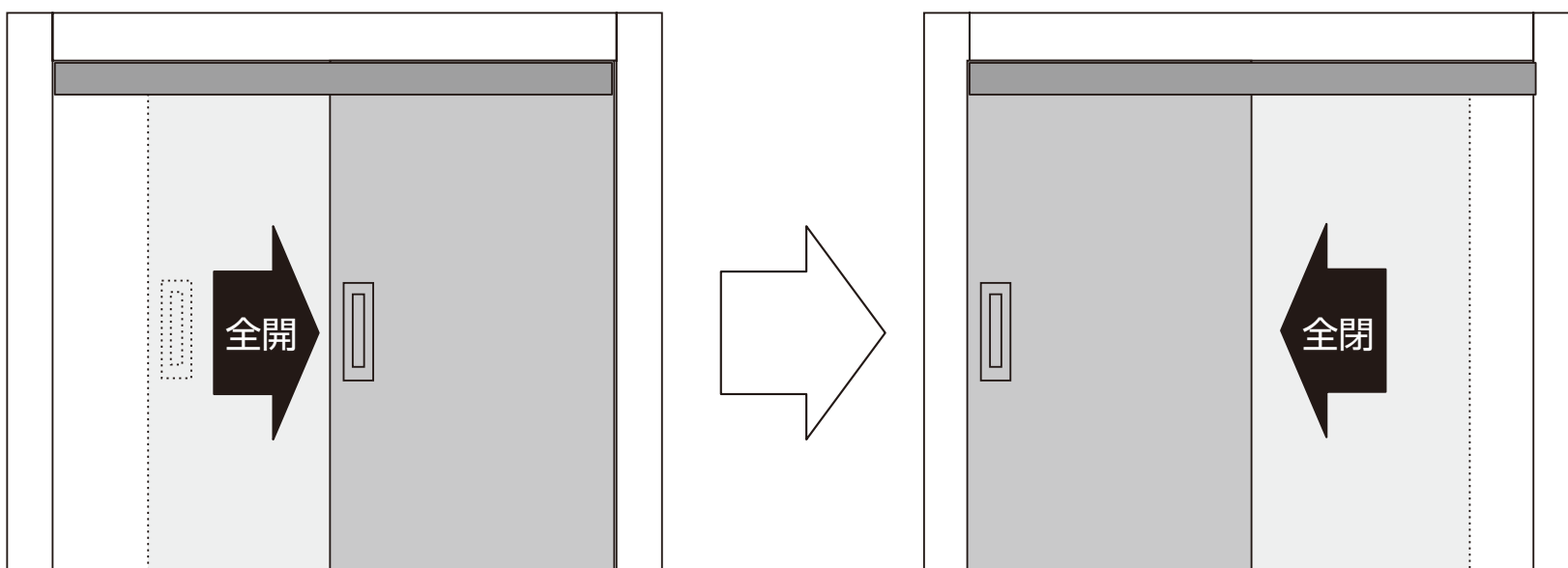
■ソフトモーション機構の自動復帰方法

※本体を吊り込んでソフトモーション機構が作動しない場合は以下の手順を行うことでソフトモーション機構が自動復帰します。

- ①本体を全開してください。
- ②本体を全閉してください。
- ③①、②を1～2回繰り返してください。ソフトモーション機構が復帰します。

※必ず縦枠に当たるまで全開・全閉を行ってください。ソフトモーション機構復帰時に「カチッ」と手応えを感じます。

※ソフトモーション機構復帰後は本体を無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。作動不良の原因となります。



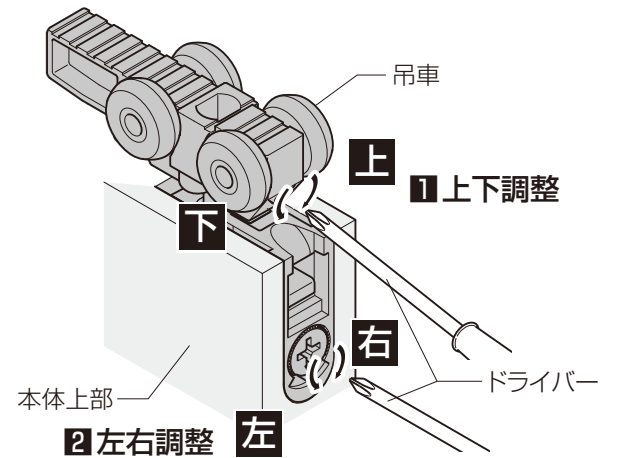
■ 本体の調整

1 上下調整(調整幅 上 4mm、下 1mm)

- プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
※床面と本体下部とのチリ寸法は、8(-1、+2)mmが標準です。
- ※本体と床のすき間が範囲からはずれていると、ガイドピン・ガイドスライダーがはずれたり、ガイドピン・埋込敷居・フラット下レールと引戸の下部がこすれる場合があります。

2 左右調整(±2mm)

- 前後調整は、プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。

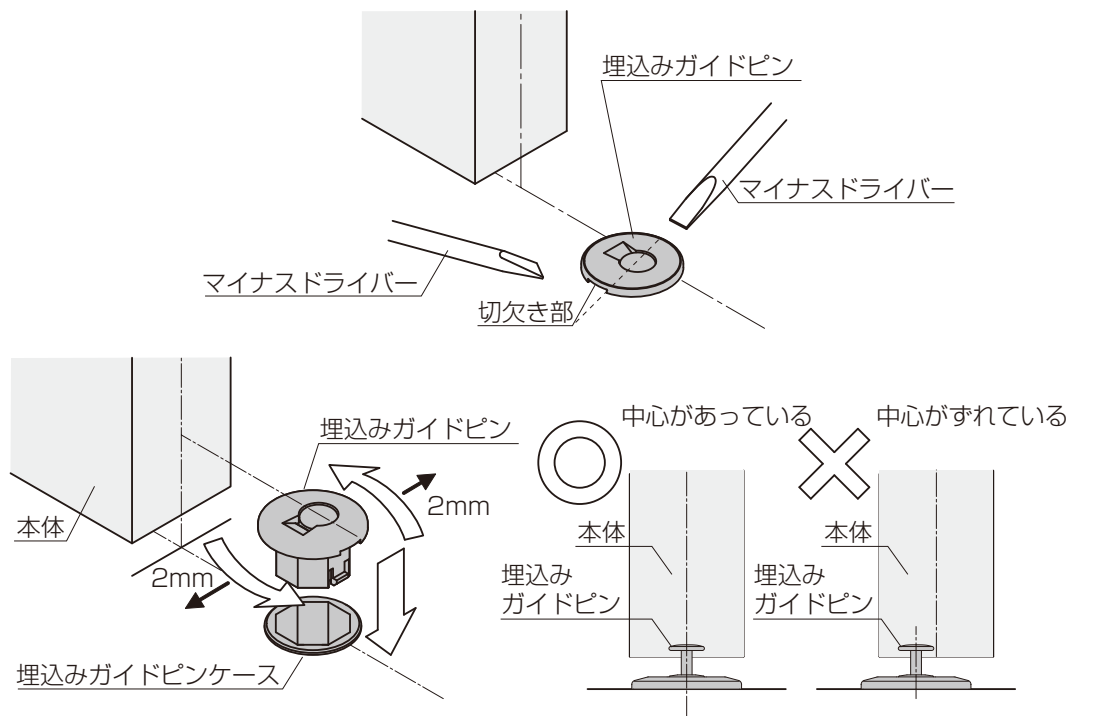


3 ガイドピン位置前後調整 (調整幅 4mm)

- ガイドピンの切欠き部(2ヶ所)にマイナスドライバーを同時に差し込んで外してください。
- ※切欠き部1ヶ所だけで外すと、製品が変形するおそれがあります。
- ※床にキズがつかないようにマイナスドライバーの下にあて布をして外してください。

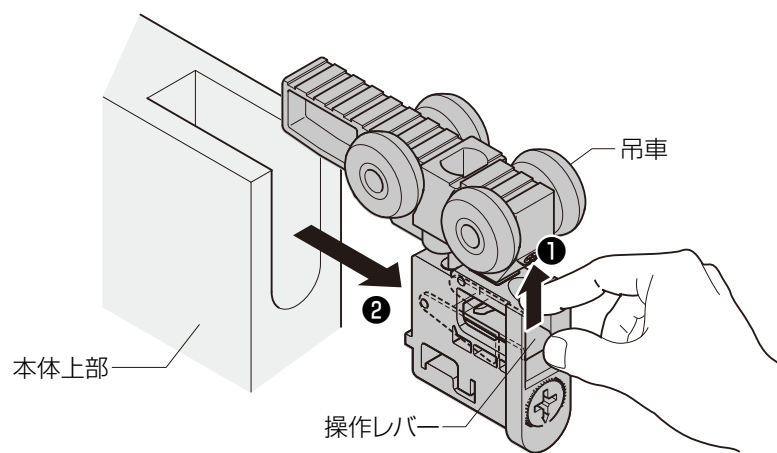
- 本体が静止していることを確認し、本体の中心線上にガイドピンの先端がくるようにガイドピンをまわして位置をあわせてください。
- ※中心のズレは2mm以下に調整してください。
- ※中心がずれていると、本体開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。
- ※ガイドピンケース内部、ガイドピン本体にゴミなどが入り込んでいる場合はきれいに取り除いてください。

- 位置があったらガイドピンをガイドピンケースへ最後まで押し込んでください。



4 本体の取外し方法

- 本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。
- 次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。

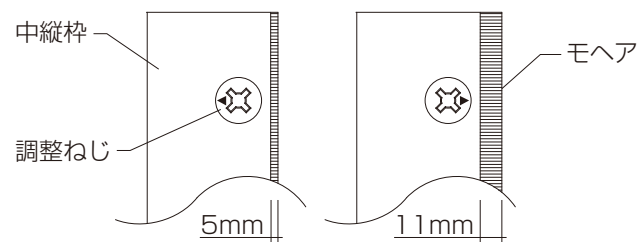
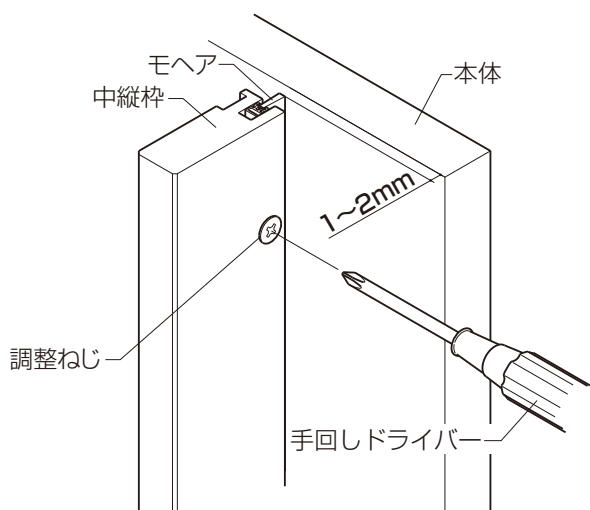


5 中縦枠の調整(調整代 +6mm)

※本体とモヘアのすき間が1~2mm程度になるように調整してください。

出荷時には輸送時のモヘアの折れ曲がりを防ぐためモヘアを最も引っ込めた状態で出荷しています。

- ①中縦枠のモヘア調整ねじを手回しドライバーで回してモヘアの出寸法を調整してください。
- ②調整後、本体とモヘアの先端が1~2mmのすき間が確保されているか確認してください。



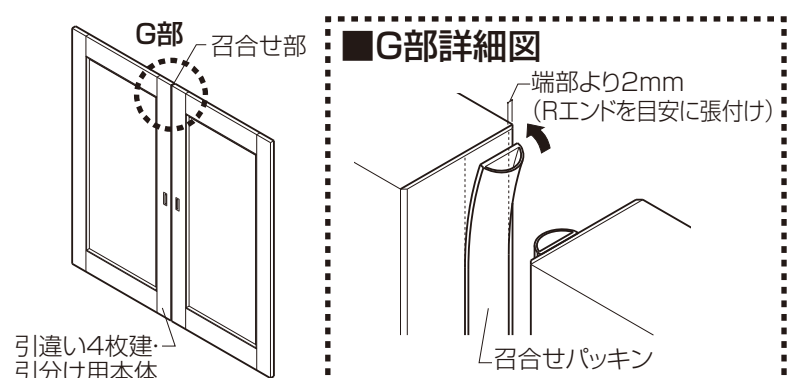
調整ねじの▲マークがモヘア側に向いている時がモヘアが最も出ている状態で、逆に向いている時が最も引っ込んでいる状態です。

■ 召合せパッキンの取付け

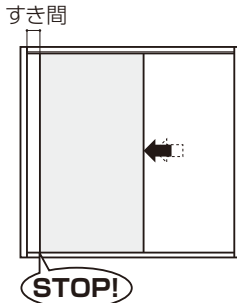
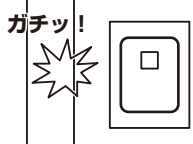
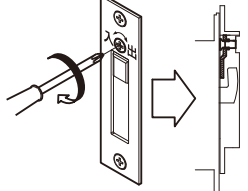
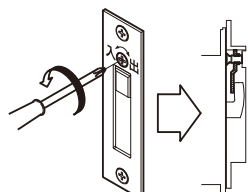
(引分け戸、引違い戸4枚建の場合)

- ①本体の吊込み・建付け調整を行った後、召合せ部にパッキンを取付けます。
- ②パッキン裏面のシートをはがし、右図の位置に5kg程度の力で押して張付けます。
パッキンは長めのものを同梱していますので、現場でカットしてください。

- お願い
- ※パッキンは、必ず本体を吊込んで、建付け調整を行ってから張付けてください。
 - ※パッキンは、張付け面のホコリ・汚れ・油分などを取除いてから張付けてください。
 - ※はがす場合は、上部からゆっくりと引っ張ってはがしてください。勢いよくはがすと、表面シートを傷める可能性があります。



6 異常時の対処方法

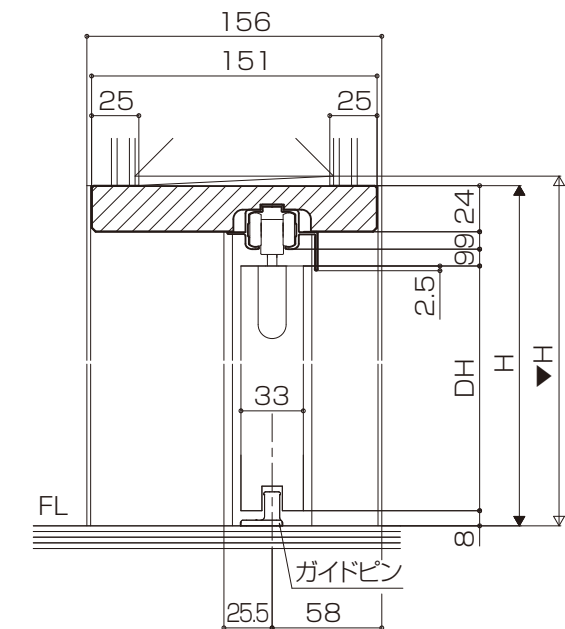
現象	チェックポイント	対処方法
閉まりきらない 	● 枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている ※ 6/16 『■取付け精度の許容範囲』の欄参照	許容範囲内となるように再施工してください。
鍵がかからない 	● ストライク調整が不適当	ストライク調整ねじを右に回してください。 
鍵のかかりが甘い (縦枠と本体戸先にすき間が開く)	● ストライク調整が不適当	ストライク調整ねじを左に回してください。 

■参考納まり図

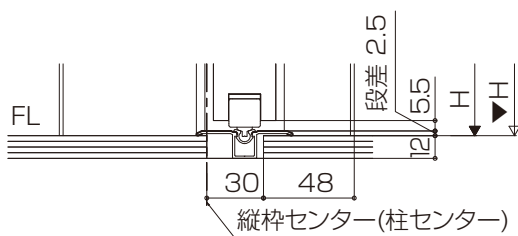
■可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図

●横断面図

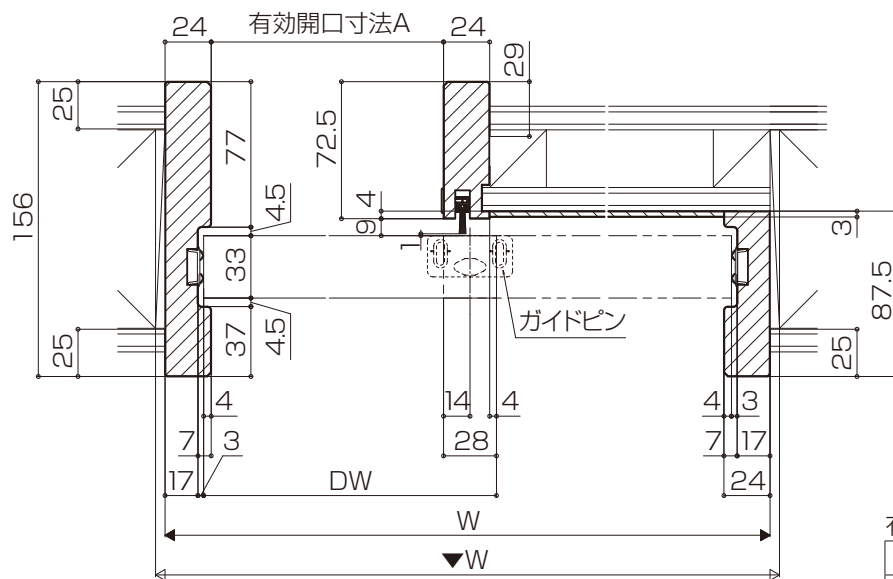


・ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、ガイドピンは使用しません。



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W16(1644)	784

算出式：A寸法 = (W-76)/2
 DW = (W-12)/2

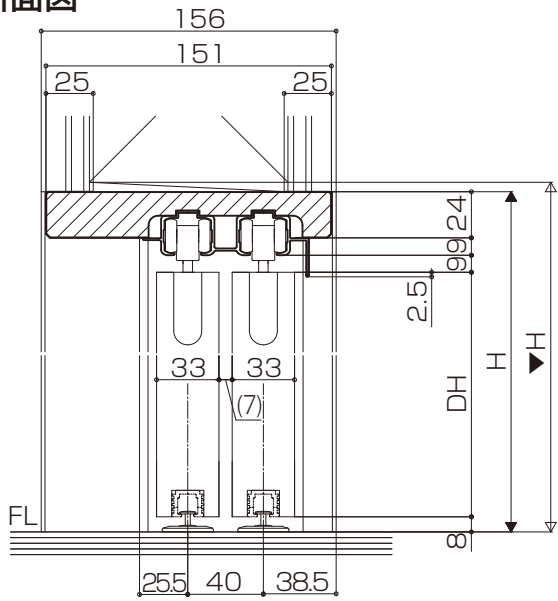
両側バーハンドル取付け時
 算出式：A寸法 = (W-76)/2-92

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
 DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

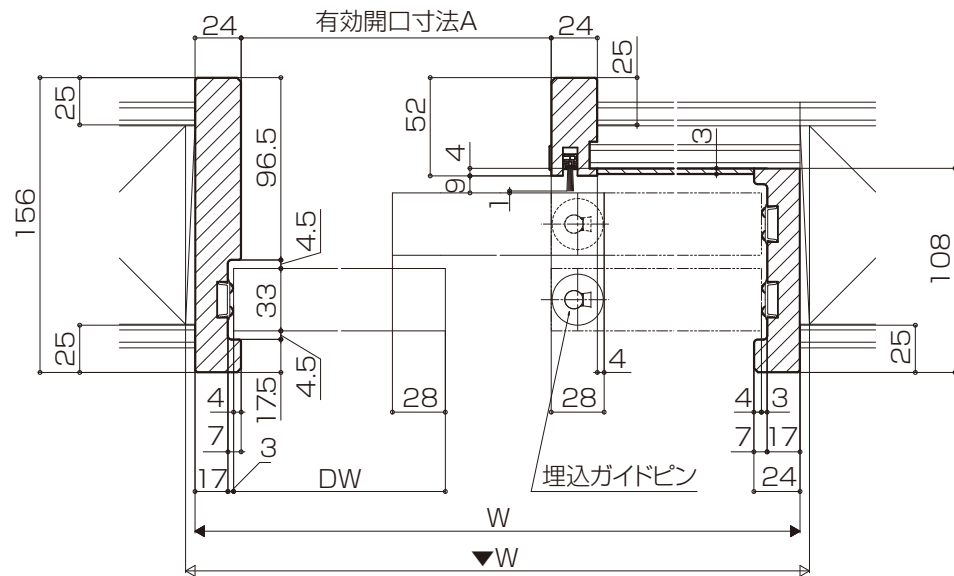
・フラットレール使用

■可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸2枚建ユニット ノンケーシングタイプ

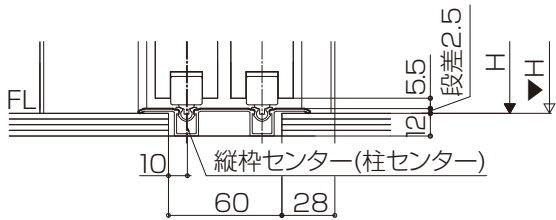
●縦断面図



●横断面図



●埋込ガイドピン使用



●埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。

●フラットレール使用



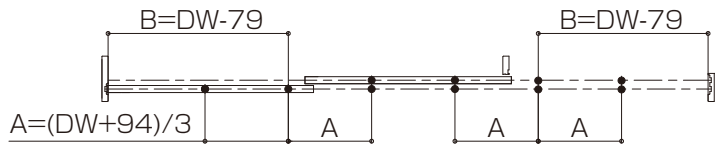
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W24(2432)	1572

算出式：A寸法 $= (2W - 148) / 3$
 DW $= (W + 16) / 3$

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
 DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

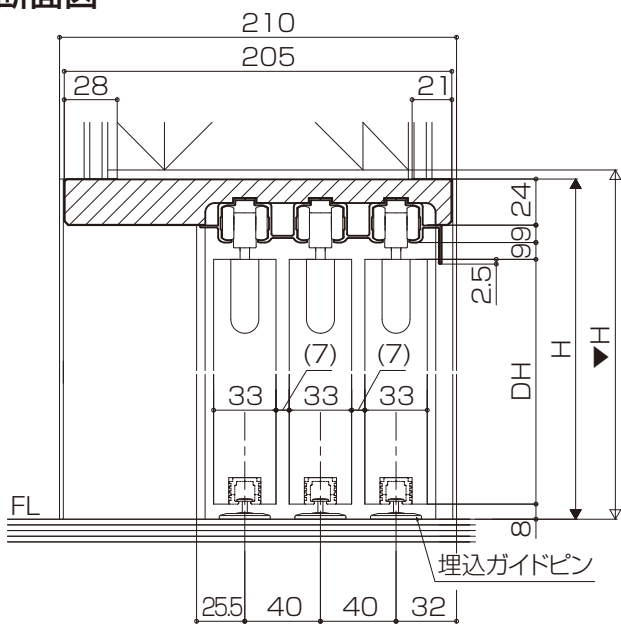
●埋め込みガイドピン配置図



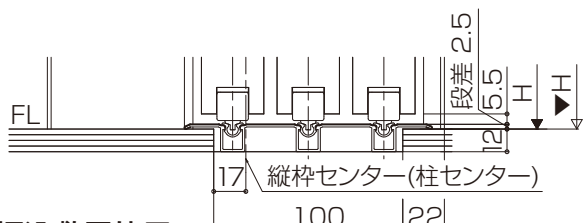
名称	DW	A	B
片引戸2枚建	816	303	737

■可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸3枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



●埋込ガイドピン使用



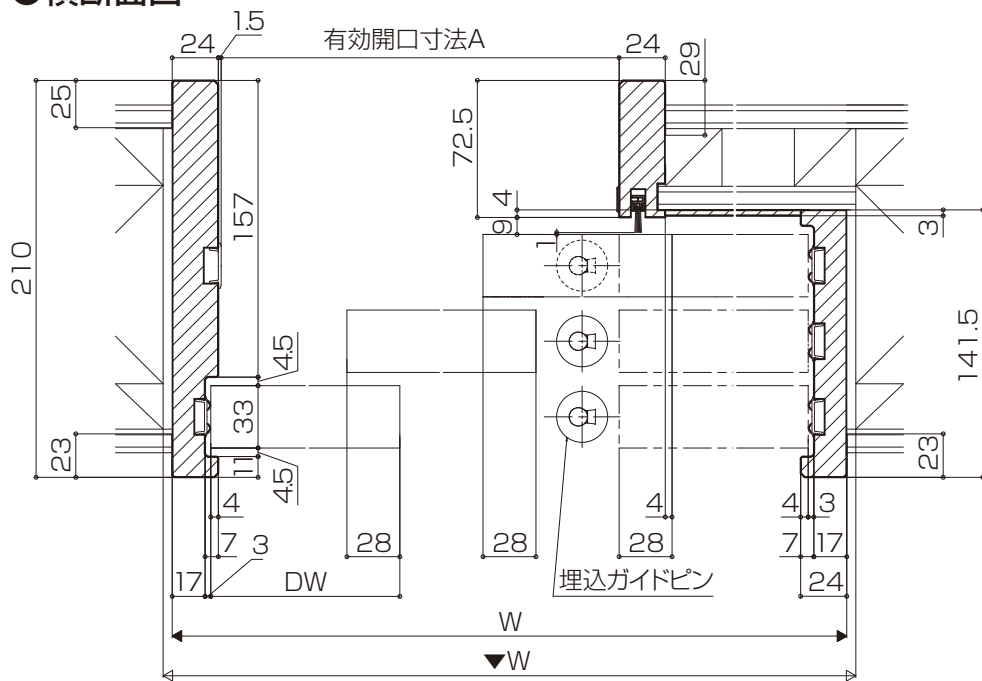
●埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。

●フラットレール使用



●横断面図



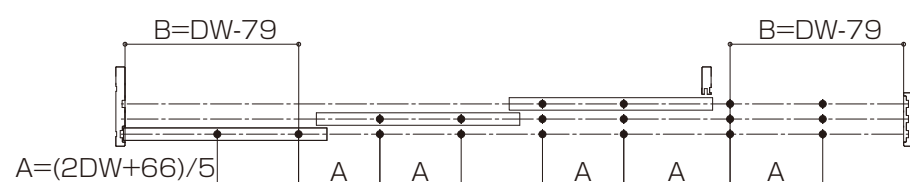
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W32(3220)	2358.5

算出式：A寸法 $= (3W - 226) / 4$
 DW $= (W + 44) / 4$

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
 DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

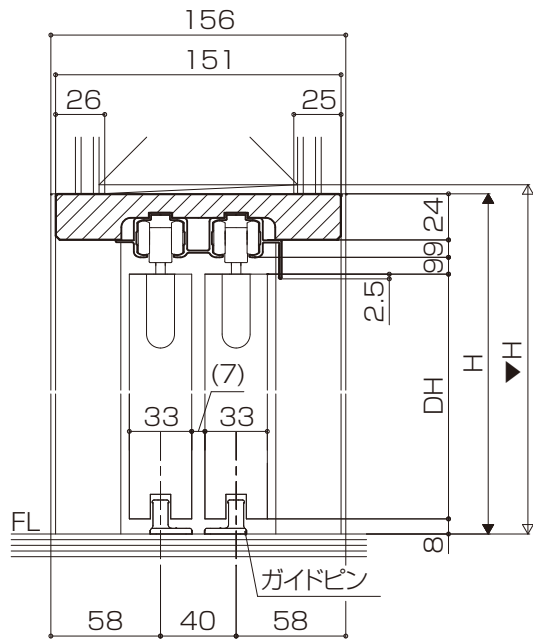
●埋め込みガイドピン配置図



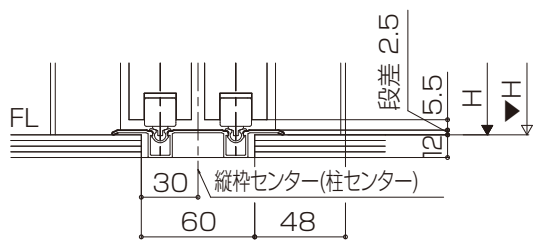
名称	DW	A	B
片引戸3枚建	816	339	737

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸2枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



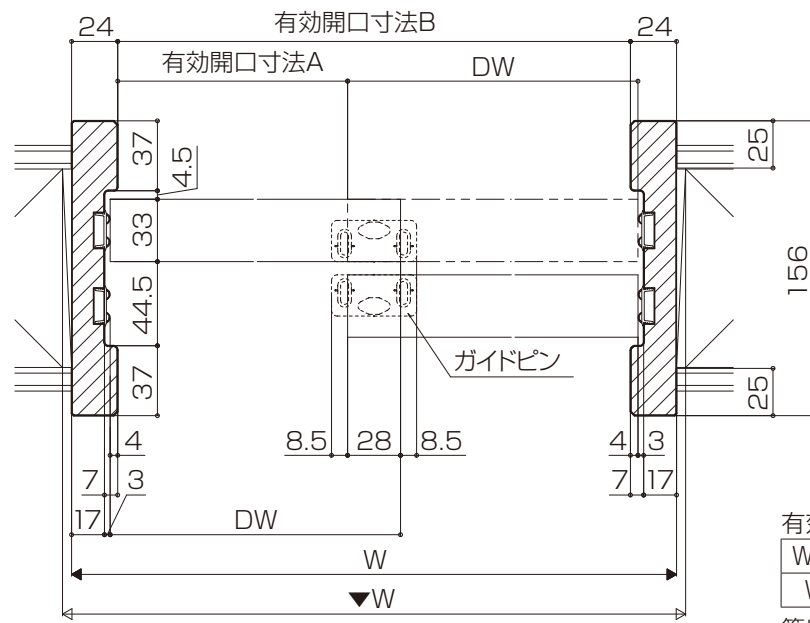
・ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、ガイドピンは使用しません。

●横断面図



有効開口寸法	A寸法	B寸法
W呼称(枠外寸法)	784	1596
W16(1644)		

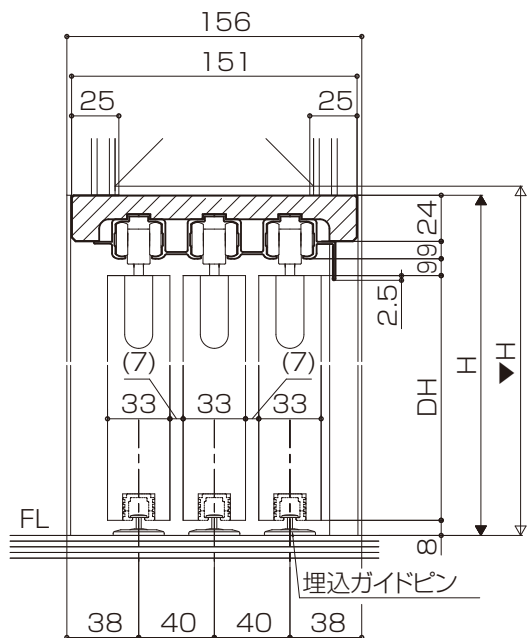
算出式：A寸法=(W-76)/2
B寸法=W-48
DW=(W-12)/2

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

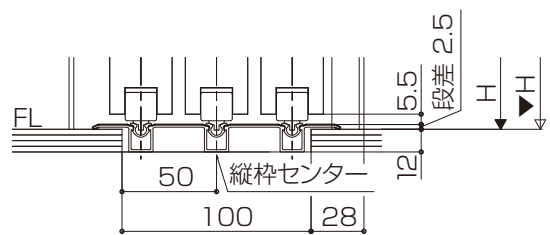
・フラットレール使用

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸3枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



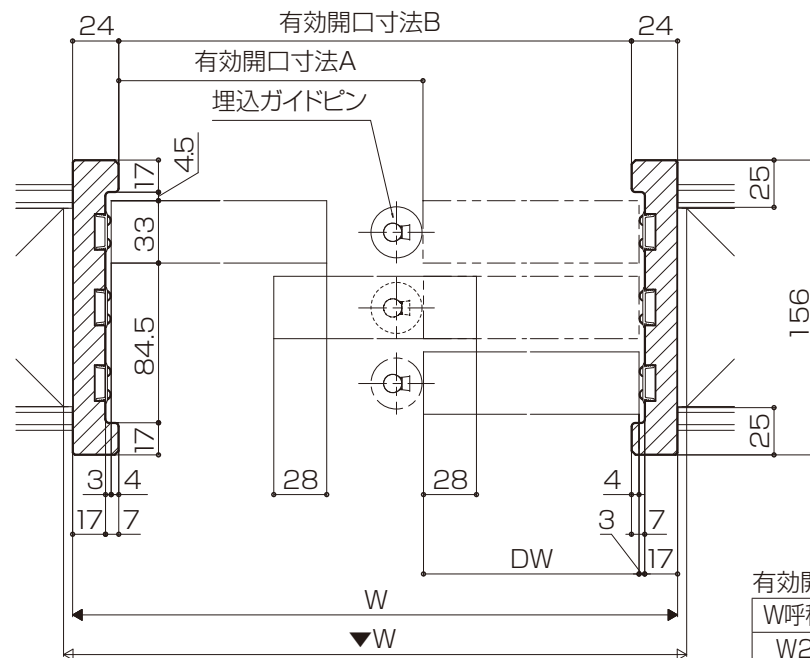
・埋込ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。

●横断面図



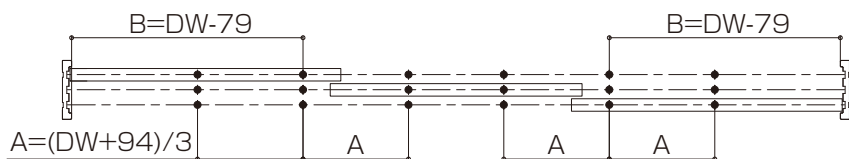
有効開口寸法	A寸法	B寸法
W呼称(枠外寸法)	1572	2384
W24(2432)		

算出式：A寸法=(2W-148)/3
B寸法=W-48
DW=(W+16)/3

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

・フラットレール使用

●埋め込みガイドピン配置図

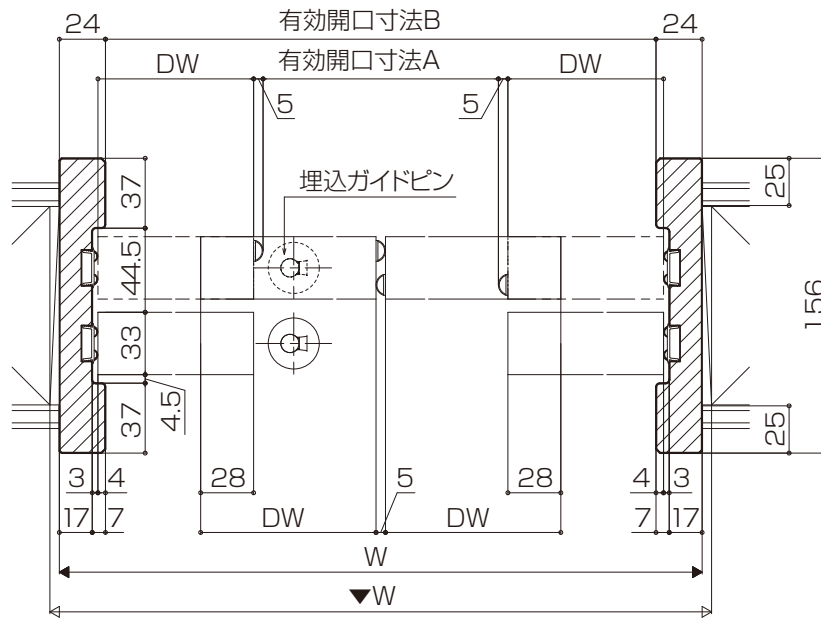
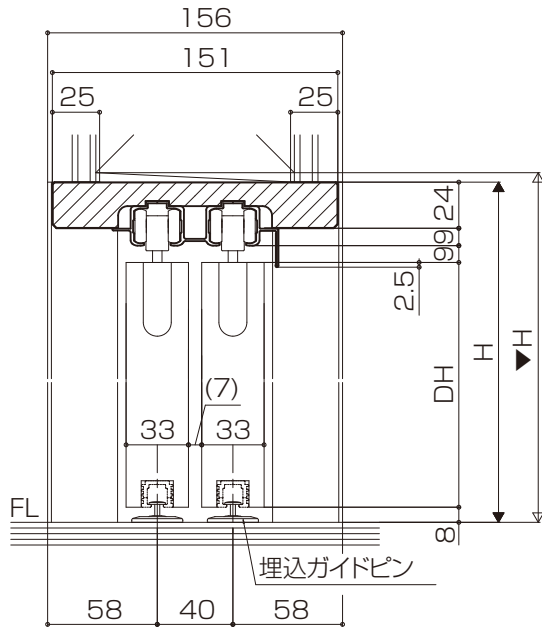


名称	DW	A	B
引違い戸3枚建	816	303	737

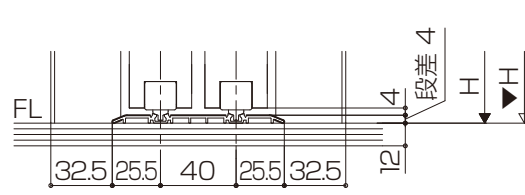
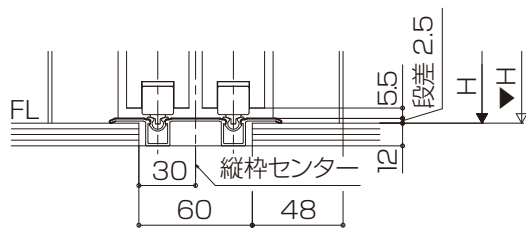
■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸4枚建ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図

●横断面図



・埋込ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。

・フラットレール使用

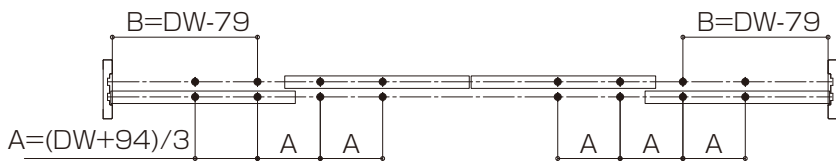
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W32(3253)	1571	3205

算出式：A寸法=(W-111)/2
B寸法=W-48
DW=(W+11)/4

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

●埋め込みガイドピン配置図

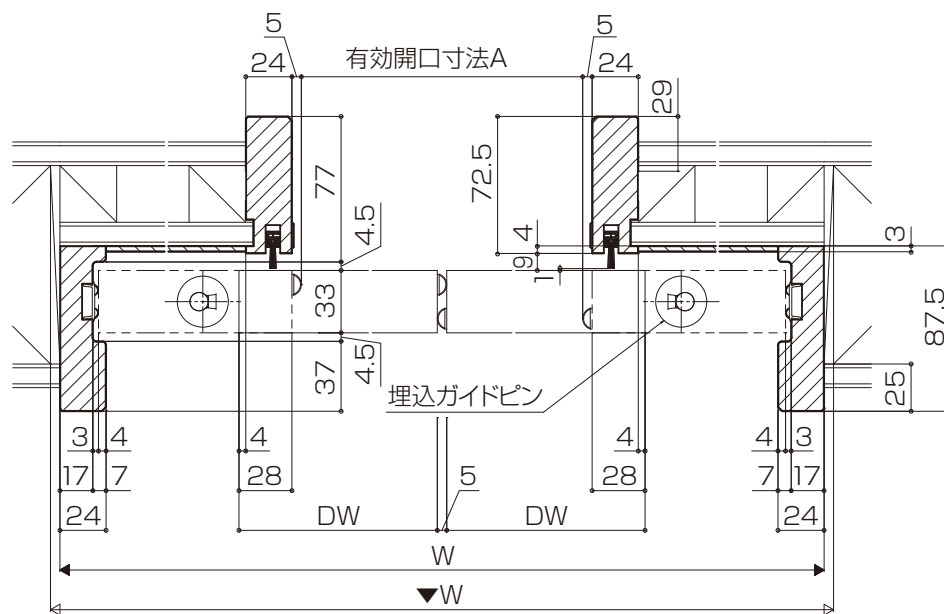
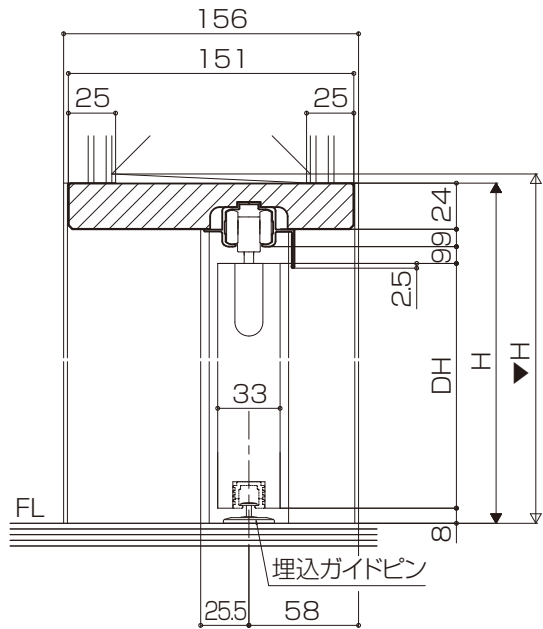


名称	DW	A	B
引違い戸4枚建	816	303	737

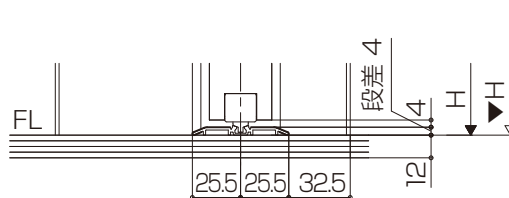
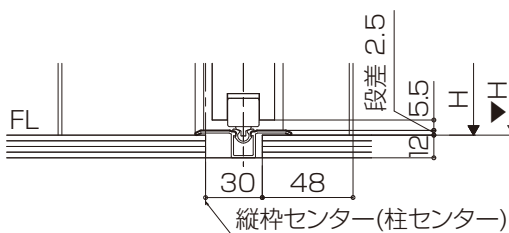
■可動間仕切り引戸上吊方式 引分け戸ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図

●横断面図



・埋込ガイドピン使用



・埋込敷居使用

※埋込敷居、フラットレール使用の場合、埋込ガイドピンは使用しません。

・フラットレール使用

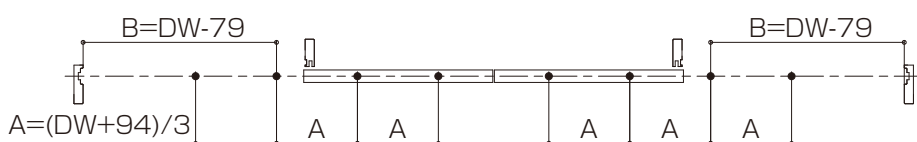
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W32(3253)	1571

算出式：A寸法=(W-111)/2
DW=(W+11)/4

※表は規格サイズ本体 (DW816) を使用した場合の寸法です。
DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

●埋め込みガイドピン配置図



名称	DW	A	B
引分け戸	816	303	737